

(案)

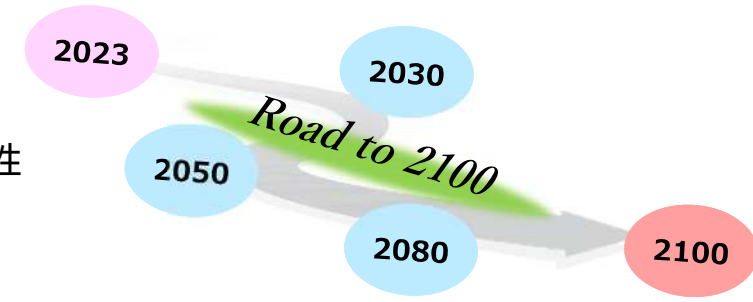


江戸川区公共施設再編・整備計画



2023年10月
江戸川区

公共施設再編・整備計画 目次



1 はじめに
古くなった施設を
そのまま建て替えると...

- 1 このまま2100年を迎えると...
- 2 公共施設再編・整備計画策定の必要性
- 3 対象となる公共施設

2 計画のエビデンス（根拠）
2100年の人口規模を
見据えた施設の規模は？

- 1 江戸川区の現状（人口・財政）
- 2 公共施設の現状と課題
- 3 施設の適正量シミュレーション

3 具体的なポリシー（政策）
今よりも便利で
にぎわいのある公共施設を

- 1 これからの施設整備における3つのポイント
 - (1) 時代に合わせた施設の再編・整備
 - (2) 生きがいづくり（文化・スポーツ・趣味）ができる環境の確保
 - (3) 災害対策の充実

4 おわりに
区の魅力とサービスを
高めるために

- 1 新たな施設の整備や誘致の検討
- 2 財政負担の低減に向けた新たな取り組み
- 3 計画の推進に向けて
- 4 策定の経緯



1 はじめに

- 1 このまま2100年を迎えると...
- 2 公共施設再編・整備計画策定の必要性
- 3 対象となる公共施設

2100年は今日生まれた赤ちゃんが生きる時代…。今、建てた建物がまだ使われている時代。

このまま計画的に行動せずに、今までどおり2100年を迎えたら…

私たちは、人口減少や財政規模の縮小などという区を取り巻くリスクに備える新たな行動が必要になります。

そうした前提を明らかにしながら、理想の江戸川区を描いたのが「2100年の江戸川区(共生社会ビジョン)」(2022年8月公表)です。

共生社会ビジョンには具体的な取り組みは示されていません。

そこで江戸川区が目指す「誰もが安心して自分らしく暮らせるまち」を実現するため、2100年に向けた具体的な行動、2100年に向けたアクションプランを検討しました。

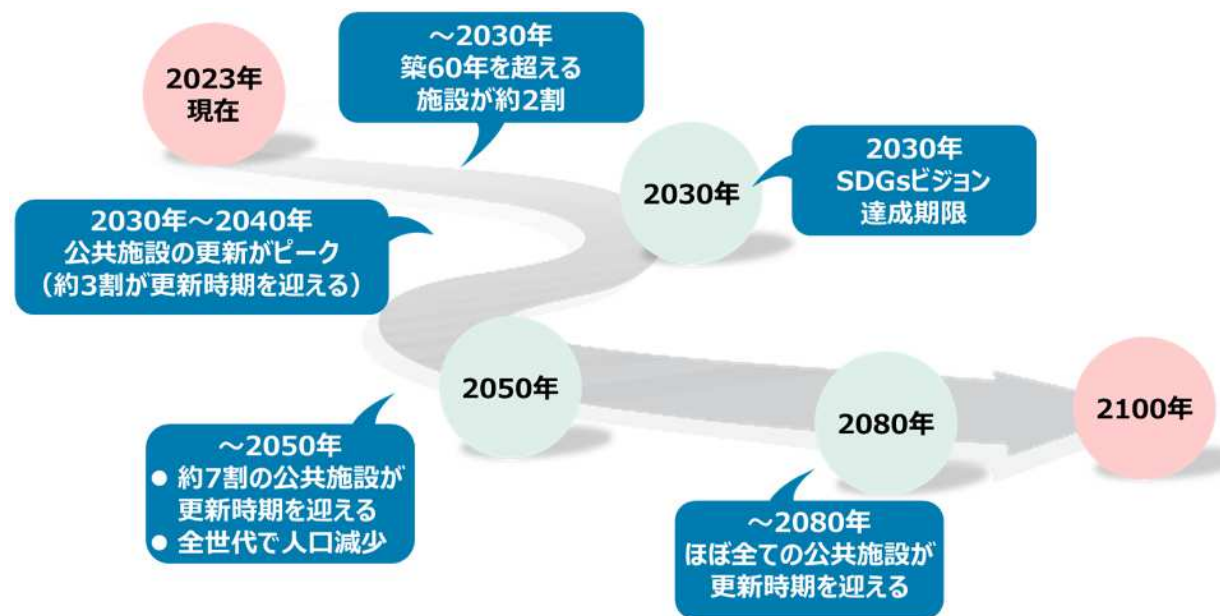
2100年の江戸川区の姿を考えるうえで重要になるのが「公共施設」です。

江戸川区の公共施設は昭和30～50年代に集中して建設されており、多くの施設で老朽化が進み、それらの施設では今後、更新の時期が集中してきます。

今日、施設を建て替えると、その建物は80年先の2100年まで使うことができます。しかし、人口や区のお金が減少していくと想定される中、**古くなった建物をそのまま建て替えていっても良いのでしょうか…？**

これからの未来、これまでのように公共施設を維持していくことは難しいことなのかもしれません。

そこで2100年に向けて、**持続可能で区民にとって利便性の高いサービスを提供していくために、公共施設のあり方を検討しました。**

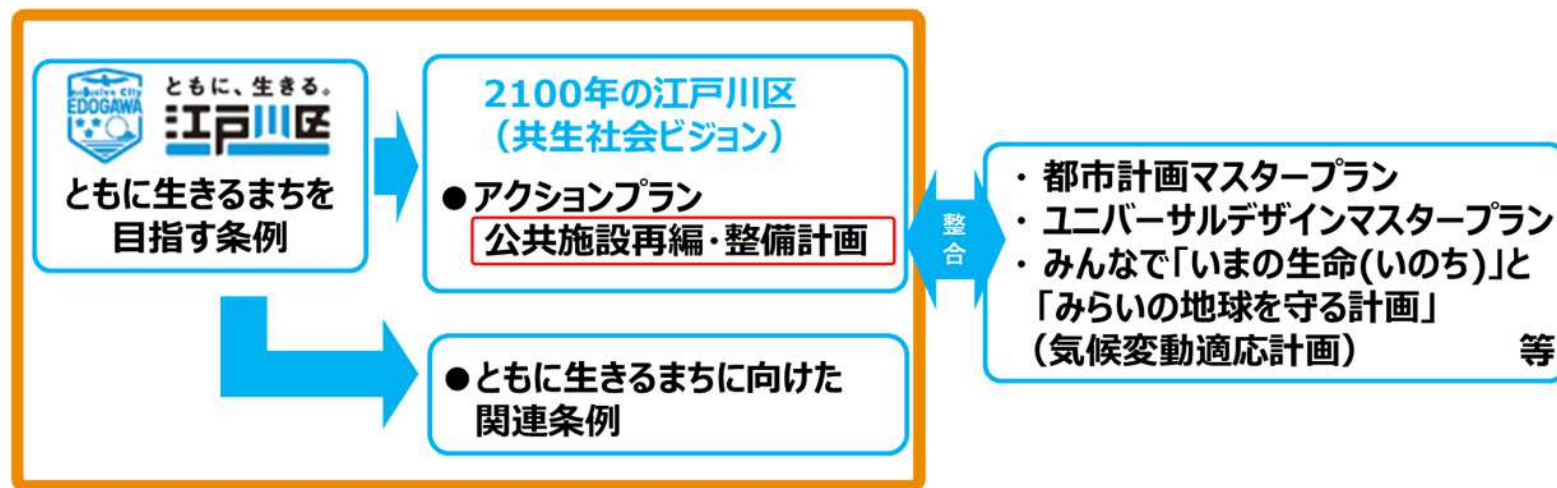


今から、
そしてこれからも
維持し続けて
いかなければならない
取り組みです

この検討では、将来世代に財政負担が残らない施設適正量の検証や、施設機能の集約と区民の利便性が向上する行政サービスの複合化方針など、これからの公共施設整備におけるポイントを検討し、方向性をお示しします。

将来に向けて財政負担を残さない、そして行政サービスの質を維持・向上させる、そうした公共施設のあり方を示したものが

「公共施設再編・整備計画」です



本計画は公共施設等総合管理計画(平成29年3月策定)の改訂版としています。

江戸川区にはどんな公共施設があるの？



1-3

対象となる公共施設

本計画の対象となる公共建築物 ()は施設数

行政系施設

庁舎(4)、事務所(5)、保健所等(11)、清掃事務所(3)
防災施設等(6)、その他の行政施設(8)

住宅施設

区営住宅(4)

文化・スポーツ施設

宿泊施設(3)、文化施設(4)、スポーツ施設(15)、共育プラザ等(8)、図書館(12)

コミュニティ施設

コミュニティ会館等(33)、地区会館(47)

福祉施設

くすのきカルチャーセンター(6)、障害者・障害児施設等(21)、なごみの家(9)
地域包括支援センター(熟年相談室)(27)

子育て支援施設

区立保育園(34)、おひさま保育園(23)、児童相談所・育成室等(26)

学校教育施設

区立小学校(66)、区立中学校(32)、区立幼稚園(1)、閉校した小中学校(9)
その他の教育関連施設(10)

なごみの家及び地域包括支援センターは、区の委託事業として相談機能を担っていますが、民設民営のため施設数には含みません。
文書庫など行政のみが利用する施設及び、文化財施設は整備方針の対象外としています。

391施設 / 約109万㎡の床面積

インフラ施設

道路、橋梁、公園(公園施設等含む)、特定施設、公衆手洗所、水門等

上記の公共建築物について、『2-3 施設の適正量シミュレーション』を行うにあたり、インフラ施設の更新・維持管理に関わる費用も計上し算出しております。

2 計画のエビデンス（根拠）

- 1 江戸川区の現状（人口・財政）
- 2 公共施設の現状と課題
- 3 施設の適正量シミュレーション



2-1 江戸川区の現状（人口・財政）

（1）江戸川区の現状は？

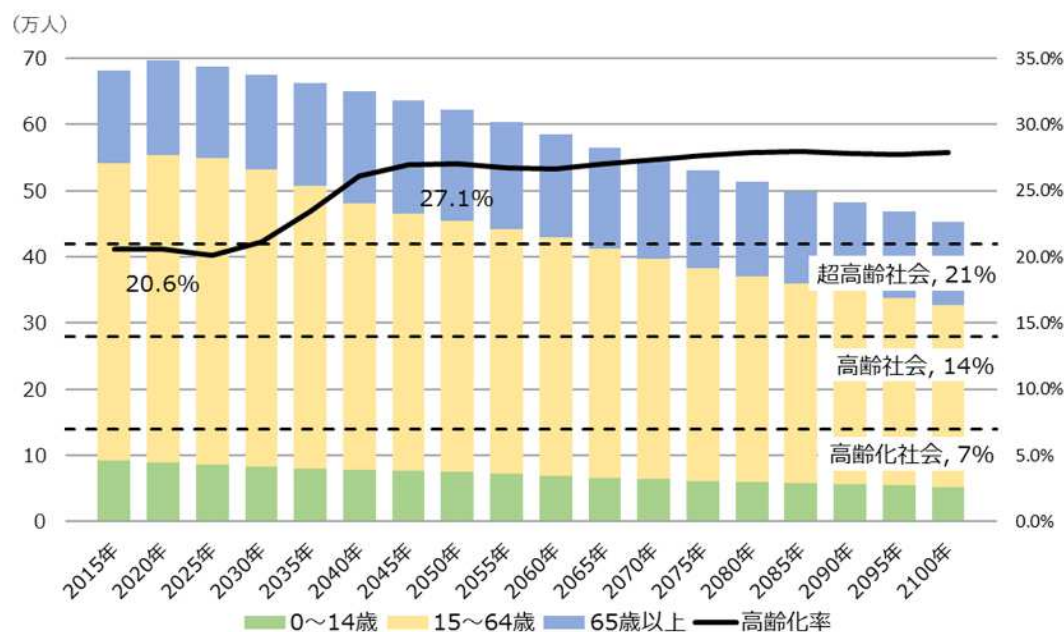
人口

江戸川区の人口は2019年に70万人を突破しましたが、2020年以降は減少傾向がみられます。

また、2020年3月に公表された「施策策定のための人口等基礎分析」において、2100年には約45万人になると推計されています。

年齢3区分別にみると、0～14歳の年少人口は、2020年以前から減少が始まっている一方で、65歳以上の高齢者人口は2045年頃まで増加傾向にあると推計されています。

江戸川区の人口推計




出典：江戸川区「施策策定のための人口等基礎分析」をもとに作成

財政（歳入）



区の歳入の**6割以上**は、特別区財政調整交付金、国庫支出金、都支出金の3つの**依存財源**により賄われています。依存財源は、制度の変更や景気の変動などにより影響を受けるため、財源の安定性の担保に課題があります。

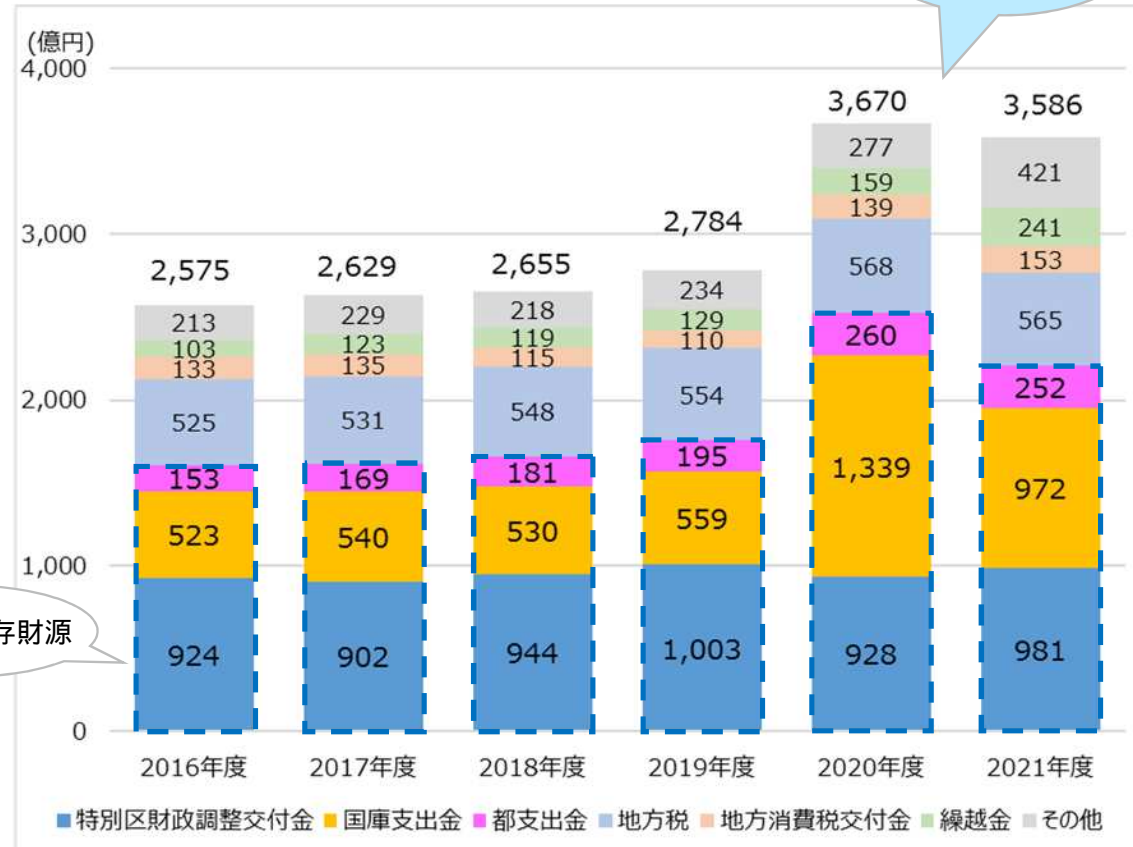
また、今後人口減少が進むことで、2100年の歳入は約**1,640億円**まで減少することが推計されています。

 = 依存財源

特別区財政調整交付金とは？

都と特別区、また特別区の間での財源の均衡化を図るため、法定都税の一定割合が特別区に交付されるものです。

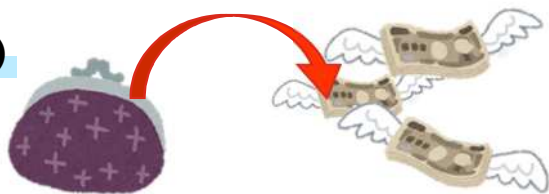
江戸川区の歳入



2020・2021年度は新型コロナウイルスの対策のため国庫支出金が増えています


出典：総務省「地方財政状況調査」をもとに作成

財政（歳出）



区の歳出の約5割は、扶助費、人件費などの**義務的経費**が占めています。義務的経費には区の努力で削減することが難しい扶助費等が含まれるため、歳入減となった際に弾力的な財政運営に影響が生じます。

2100年にむけて大幅な歳入減が見込まれる中、持続可能な区政を維持するため、歳出削減の取り組みが必要となります。

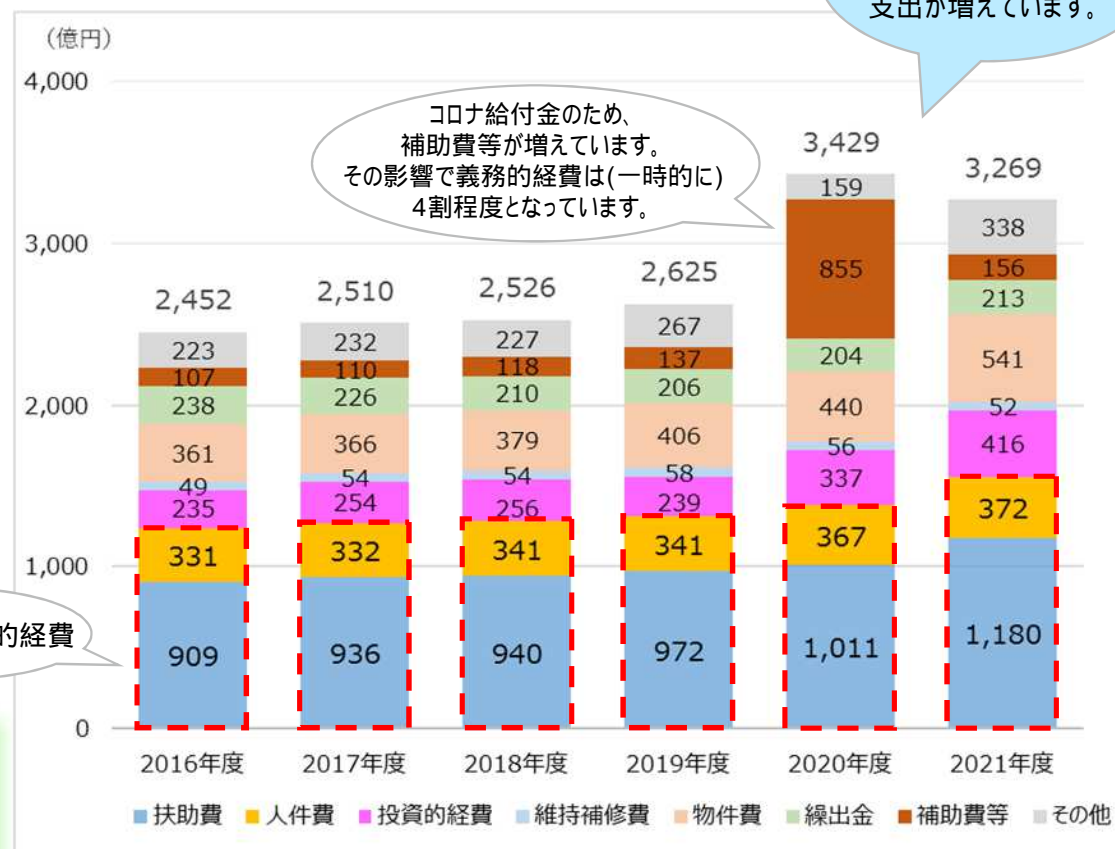
 = 義務的経費

扶助費とは？

社会保障制度の一環として、生活困窮者、児童、老人、心身障害者等を援助するために要する経費です。

出典：総務省「地方財政白書」

江戸川区の歳出





2-2

公共施設の現状と課題

(1) 公共施設の現状は？

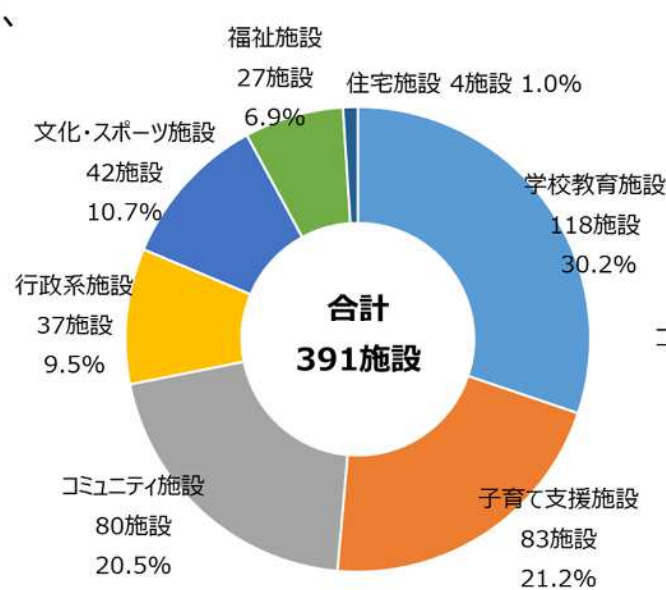
類型別の構成

施設数では、**学校教育施設**が30.2%と**最も多く**、次いで子育て支援施設が21.2%、コミュニティ施設が20.5%となっています。

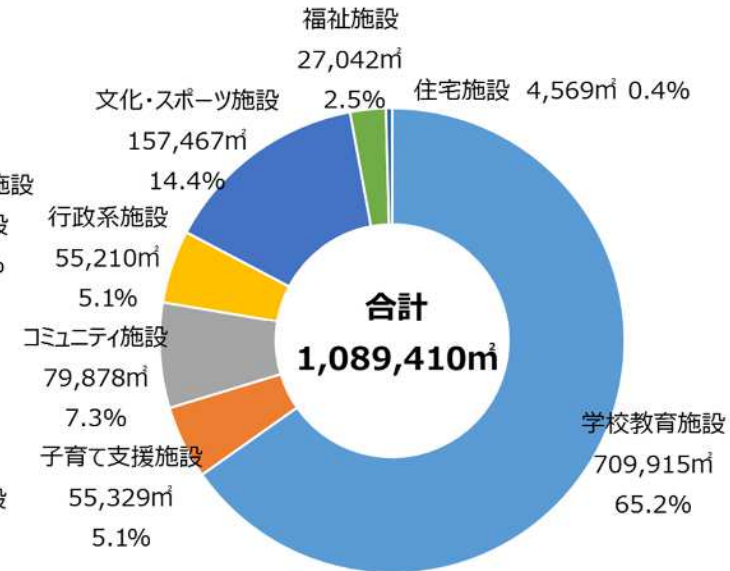
延床面積では**学校教育施設**が**65.2%**と**最も大きく**、次いで文化・スポーツ施設が14.4%、コミュニティ施設が7.3%となっています。

学校教育施設は施設数及び延床面積の割合が最も大きく、**大規模**な施設が多数存在しています。一方で、子育て支援施設やコミュニティ施設は施設数に対して延床面積が小さく、**小規模**な施設が多数存在しています。

類型別の施設数構成



類型別の延床面積構成



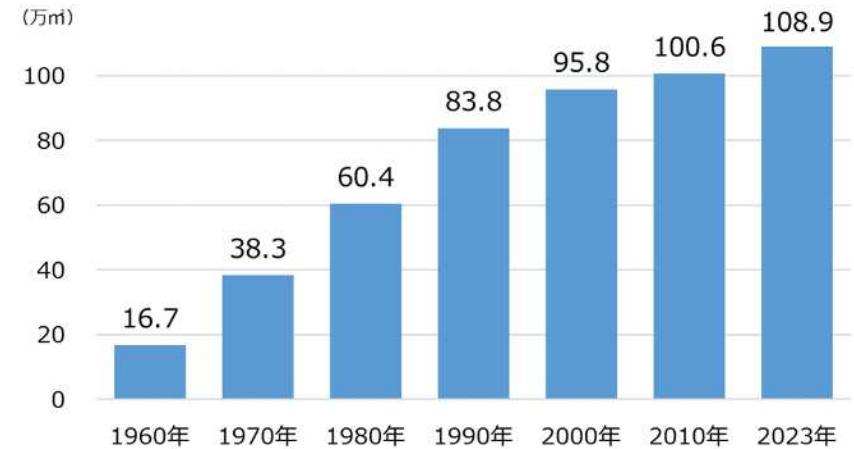
注：2023年4月時点

施設保有量の推移

区の公共施設は1960年代から1980年代頃にかけて人口の増加に合わせて建設されてきました。それに伴い、これまでは総延床面積も**増加傾向で推移**しています。

現在（2023年）の公共施設の総延床面積は約**109万㎡**で、2000年と比較すると約**13%増加**しています。

施設保有量の推移



公共施設の築年数

竣工から**50年以上が経過している施設は95施設（24.3%）**あり、そのほとんどが2030年までに築60年を超え更新時期を迎えます。

また、竣工から**30年以上が経過している施設は284施設（72.6%）**あります。

築年別の施設数



注1：築年の基準は2023年4月時点

注2：その他はテニスコート4施設とグラウンド2施設です

公共施設の機能・利用状況

区内には、行政事務や子育て、福祉、教育、地域活動の拠点などさまざまな機能を持った公共施設があります。

総合体育館、スポーツセンターなどの大型スポーツ施設や、総合文化センター、タワーホール船堀など区を代表する大型施設は多くの方に利用されており、区民が行う「する」活動のほかに、プロの試合やアーティストによる公演などを間近に「みる」機会を提供する役割も担っています。

施設名	2019年度の利用者数
タワーホール船堀	124万人
総合文化センター	97万人
スポーツセンター	93万人
総合体育館	48万人



「する」活動の様子



「みる」機会の提供

各地域にある区民館・コミュニティ会館など(32施設)の2019年度利用者数は270万人！



各地域にある区民館やコミュニティ会館、屋外スポーツのグラウンドやコートも多くの方が利用しています。

そこでは多種多様な文化やスポーツ活動、人と人がつながるコミュニティ活動が展開されています。

利用状況は資料編にも載ってるワン



維持管理・更新費の推移

投資的経費は、学校改築事業や再開発事業の進捗、インフラ及び施設の改修工事などにより増加しております。

軽易な修繕工事である維持補修費は、50～60億円を推移しております。

いずれの経費も、今後、施設の保有量の増加や老朽化の影響により、増加することが見込まれます。

投資的経費・維持補修費とは？

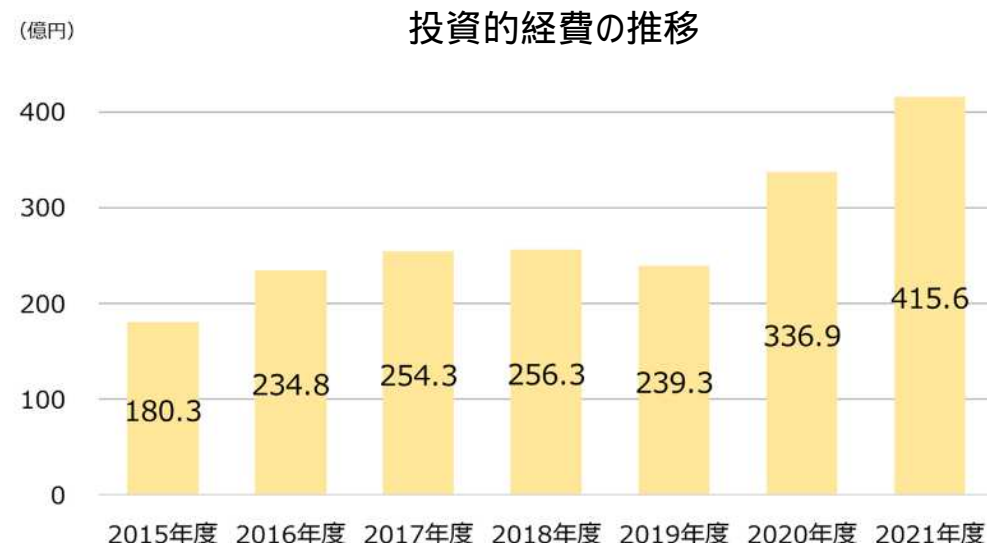
投資的経費

道路・橋梁、公園、学校、公営住宅の建設等社会資本の整備に要する経費であり、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費からなっています。

維持補修費

地方公共団体が管理する公共用施設等の維持に要する経費です。

出典：総務省「地方財政白書」



どうすればいいのだろう？



2-2

公共施設の現状と課題

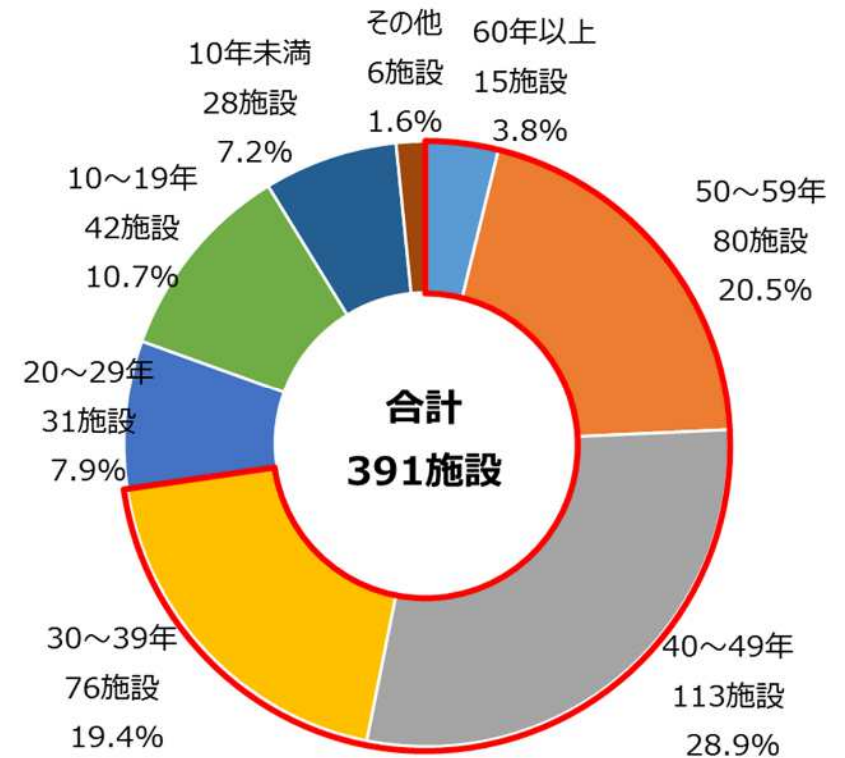
(2) 公共施設の課題は？

課題 1 施設の老朽化

築50年以上の施設は約24%、築30年以上の施設は約73%となっており、今後、**多くの施設で老朽化が進行し**、計画的な予防保全や更新などの対応が必要となります。適切な公共施設マネジメントを行い、利用者が安心して快適に利用できる施設を維持することが必要です。

**利用者の視点に立った
公共施設マネジメントが必要です**

築年別の施設数



注1：築年の基準は2023年4月時点

注2：その他はテニスコート4施設とグラウンド2施設です

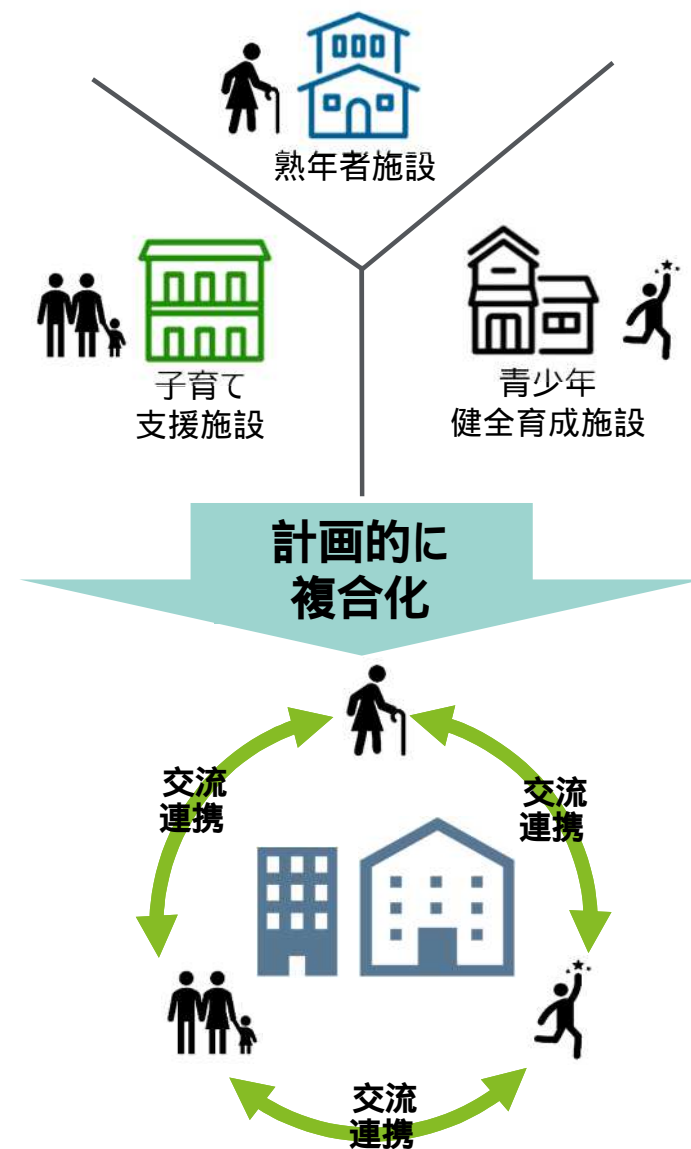
課題 2 利用者間の交流や行政サービスの連携

現在、区の公共施設の多くは単独の機能で設置されており、共生社会の実現に向けた多世代の利用者間交流が生まれにくい状況となっています。

そこで、さまざまな機能を持った施設を一つにまとめることで、**利用者の利便性が向上するだけでなく、行政サービスの連携も強化され、利用者間の交流の創出も期待されます。**

今後は、施設間の連携による行政サービスの質の向上や、利用者間の交流促進を図るために、計画的な複合化を行う必要があります。

**利用者間のさらなる交流と
施設間の連携強化が必要です**



課題3 稼働率のかたよりと限定的な利用者

総合体育館の主競技場やタワーホール船堀の大ホールの稼働率は7割～9割であり、多くの方に利用されています。

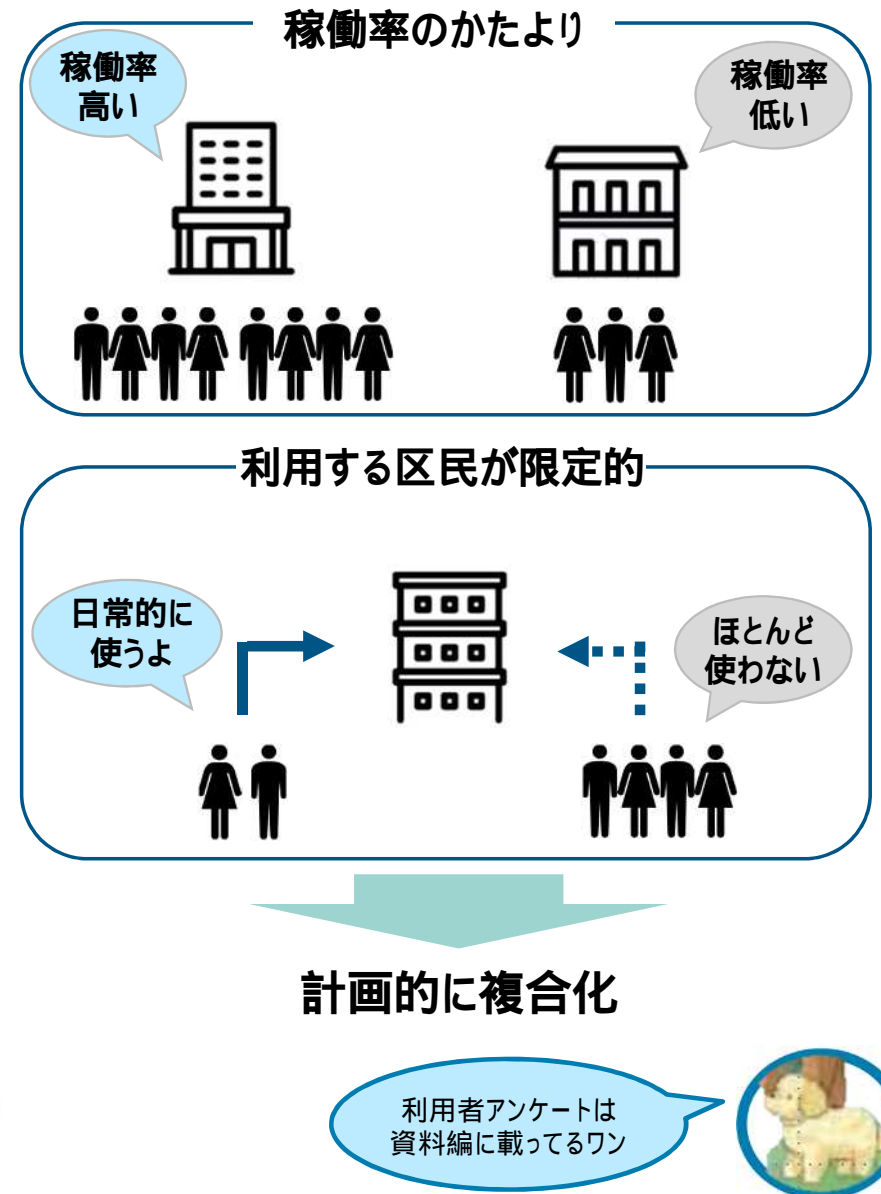
一方、一部のコミュニティ会館のホールや集会室の稼働率は低く、**施設によって稼働率にかたよりが**あります。

また、施設利用者アンケートでは、施設を「週に1回以上利用する」という回答が5割を超えています。

しかし、「令和3年度江戸川区民世論調査」では、住民票等の各種手続きを除くと、直近1年で公共施設を「利用しなかった」と半数以上が回答しており、**利用する区民が限定的である**のが現状です。

今後は、ニーズに合わせた、**誰もが使いやすい、使ってみたいと思える施設**の実現に向け、整備の工夫や配置に取り組む必要があります。また、稼働率が低い施設や利用者が限定される施設については、**集約・複合化による多機能化等の検討**が必要です。

**稼働率、利用者の
拡大に向けた工夫が必要です**



課題4 人口規模に適した施設整備

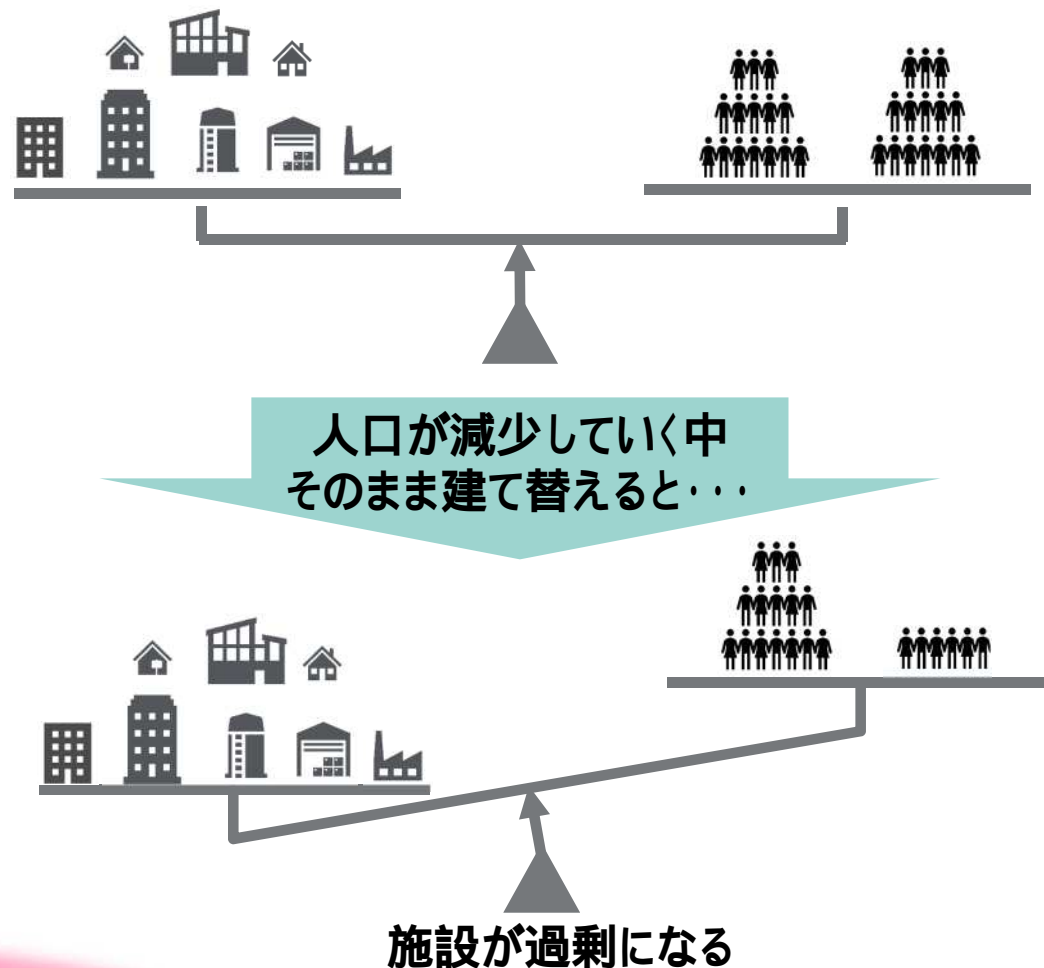
これまでは人口の増加に合わせて施設を整備してきましたが、今後は人口減少が見込まれます。

人口減少に合わせて、財政規模も縮小してくることから、**公共施設の整備や維持管理・修繕にあてられる予算は減少することが見込まれます。**

このような将来を踏まえると、現在の公共施設をそのまま更新して、将来的に維持していくことは困難な状況となります。

そのため**施設総量の最適化に向けた検討が必要**です。

**施設総量の最適化に向けた
取り組みを進めていくことが必要です**





2-3

施設の適正量シミュレーション

○ 古くなった公共施設、そのまま建て替えたら？

どんなシミュレーション？

将来的には、人口の減少と合わせて、区に入るお金も減っていくことが見込まれます。

しかし、一方で多くの施設が古くなっていくため、建て替えや修理など、たくさんのお金が必要になります。

今後、施設を維持していくために必要な費用によって、区の財政状況がどうなるかを調べました。



何もしないと...

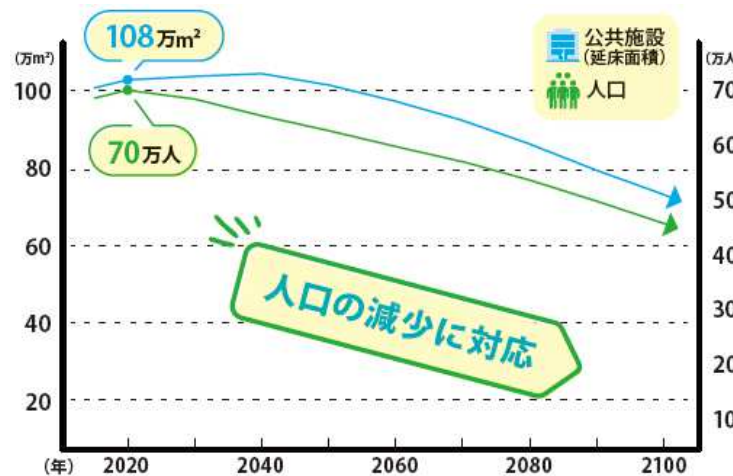
将来のことを考えずに、今ある施設をそのまま建て替えていくと、2100年には区は約8,300億円の借金を抱えることになります。



借金
約8,300億円

区の予算
約3年分

2023年度
一般会計予算
2,913億円



そうならないために...

古くなった建物をそのまま建て替えるのではなく、**長期的な視点で施設の維持管理や整備を進めていく**必要があります。

今後は人口が減少していくため、**人口規模に合わせた施設の適正量**を考えなければなりません。

現在の江戸川区の財政

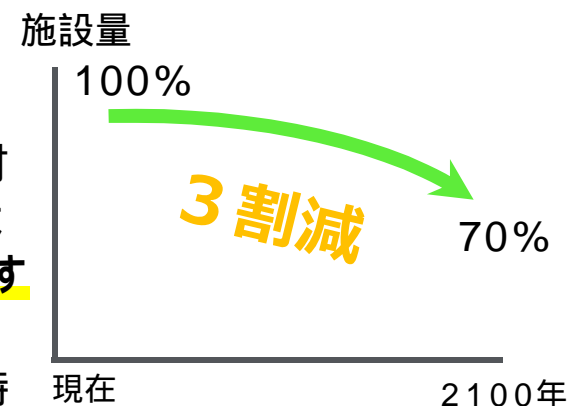
現在の江戸川区は、**実質公債費比率**が5.7%（特別区平均 3.3%）と全国的にみても良好な数値となっており、**健全な財政を維持**しています。

令和3年度数値

どのくらいが適正量？

シミュレーションによると、現在と同程度の財政を維持するためには公共施設の適正量は現在の総量から**2100年までに約3割減らす**必要があります。

施設が減っても必要な行政サービスが維持できるように、効果的な再編・整備が必要です。



実質公債費比率とは？

実質公債費比率とは、財政の健全化判断基準の1つであり、財政規模に対する借入金（区債）の返済額及びこれに準じる額の比率をいいます。この数値が大きいほど、資金繰りが厳しくなることを表します。簡潔に言うと...

区が使うお金のうち、**借金の返済にあてるお金の割合**

将来世代に負担を残さないためには、施設総量を人口規模に合わせた適正量にする必要があります

2100年の公共施設の**適正量**は...

現在の総量の約70% !!

インフラコストは10%削減

シミュレーションの詳細は資料編に載ってるワ



3 具体的なポリシー（政策）

-1 これからの施設整備における3つのポイント

（1）時代に合わせた施設の再編・整備

（2）生きがいづくり（文化・スポーツ・趣味）ができる環境の確保

（3）災害対策の充実

公共施設を再編・整備していくうえでのポイントは？



3-1 これからの施設整備における3つのポイント

ここまで、区の公共施設の現状・課題の把握や、2100年における公共施設の適正量について、財政シミュレーションによる分析をしてきました。

次に、その把握した課題や分析結果に基づき、公共施設の再編・整備計画の具体的なポリシー（政策）を3つのポイントに沿って示していきます。

(1) 時代に合わせた施設の再編・整備

（将来世代に負担を残さないために...）

(2) 生きがいづくり（文化・スポーツ・趣味）ができる環境の確保

(3) 災害対策の充実

（安全・安心なまちづくりと災害に強い施設整備）

(1) 時代に合わせた施設の再編・整備

(将来世代に負担を残さないために...)

維持管理・修繕の着実な実施

効率的な利用方法や建築手法の検討

施設の集約・複合化を検討

跡地の有効活用

民間資源・活力・ノウハウの積極的活用

施設の類型ごとの整備方針



限りある財源の中でさまざまな取り組みを...

将来世代に負担を残さず、より良いサービスを提供していくためには、ただ施設数を減らすということではなく、建物を大事に長く使う努力や、効率的な施設の利用方法・整備手法、積極的な民間活用等、さまざまな工夫が必要となってきます。

ここでは、「時代に合わせた施設の再編・整備」の考え方を示します。

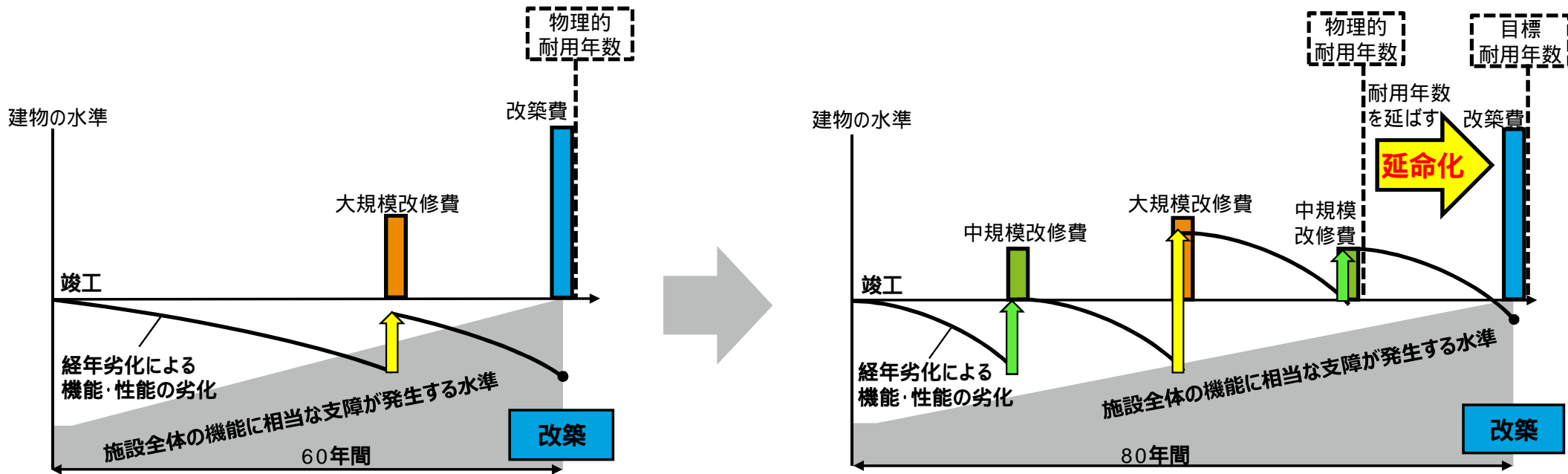
維持管理・修繕の着実な実施

これまでも区では、公共施設の計画的な維持・修繕を行ってきています。

今後も点検・診断に基づいた適切な対策の実施や予防的な修繕等の実施を徹底する等、建物を将来にわたって長く使う努力を続けて、事業費の高コスト化を回避することで、ライフサイクルコスト の縮減を図っていきます。

また、利用者の安全の確保に直結するような緊急性の高い場合は早急に対策を行い、施設を安全な状態で維持して、サービスを継続的に提供していきます。

建物の計画・設計・建築から、その建物の維持管理、解体・廃棄までに要する費用の総額



出典：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(平成29年3月)P39をもとに作成

効率的な利用方法や建築手法の検討

将来の人口規模や財政規模を考慮すると、区の施設総量は適正量にしていく必要がありますが、その一方で、施設で提供されるサービスは低下させない工夫が必要です。

諸室を多機能化・多目的化することで効率的な部屋の使用を可能とし稼働率を上げていく工夫や、将来の社会情勢の変化による施設需要の変化に対応できる建築手法を検討し、取り入れていきます。

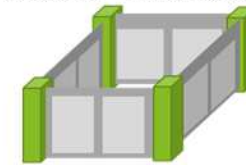
運用(ソフト面)での工夫



昼はくすのきカルチャー機能、
夕方・夜は共育プラザ機能も！

建築(ハード面)での工夫

スケルトン：構造躯体



インフィル：内装・設備



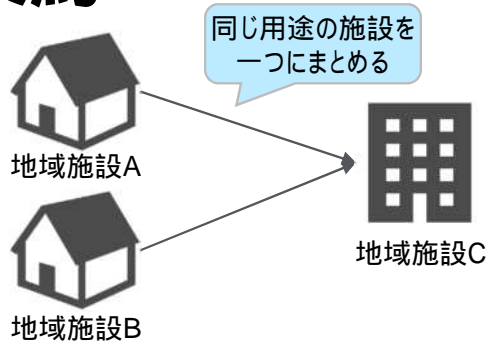
スケルトン・インフィル工法のイメージ

建物の柱・梁・床などの構造躯体（スケルトン）と内装・設備など（インフィル）を分離した方法を検討し、柔軟性のある間取り変更が可能に！

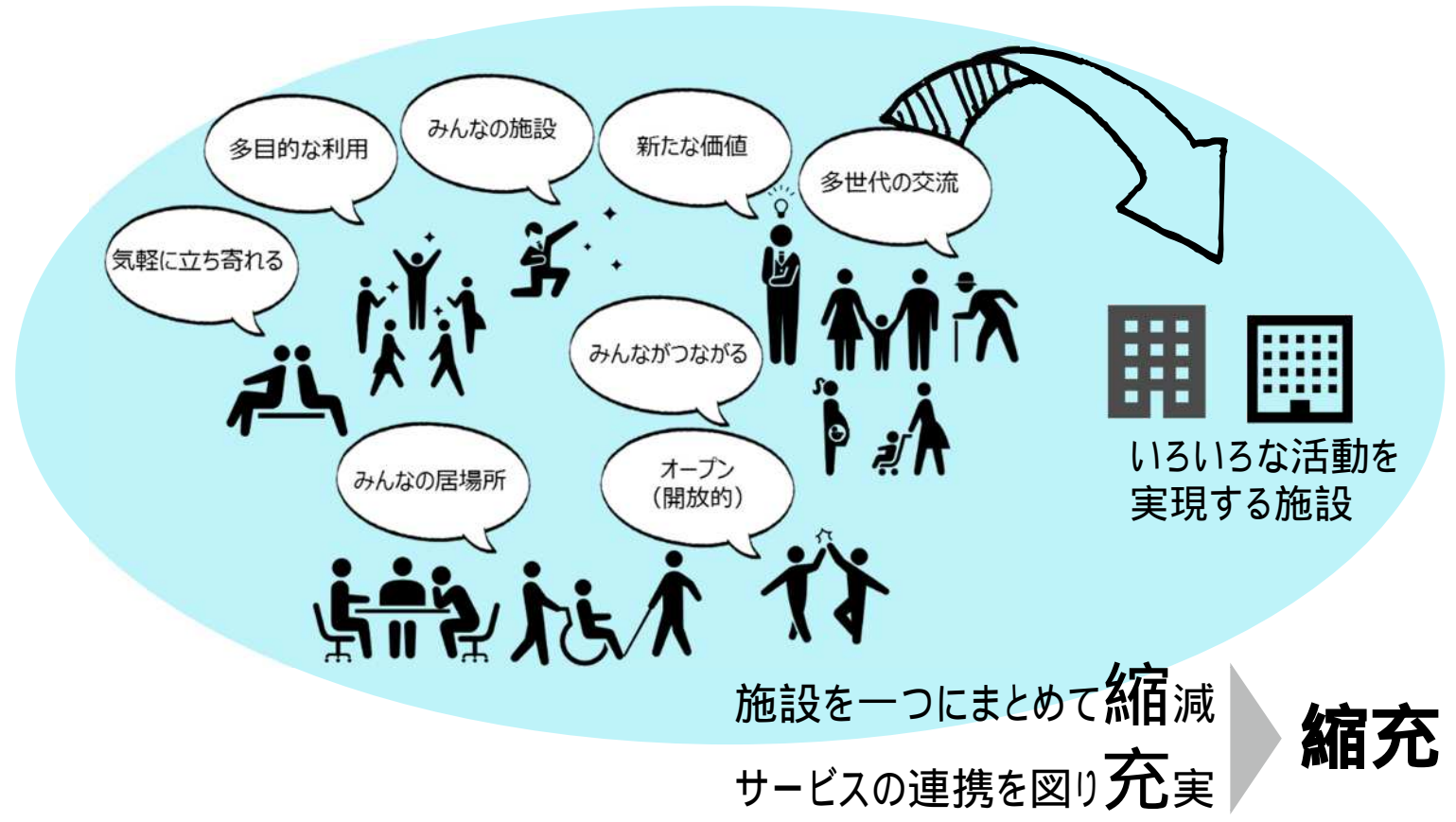
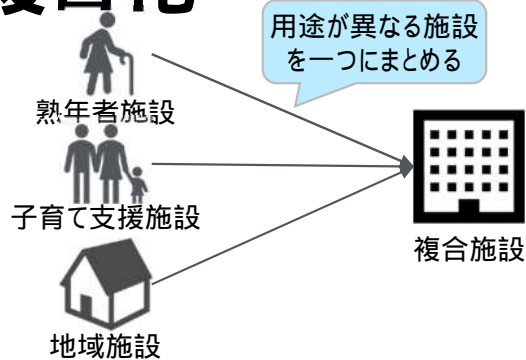
施設の集約・複合化を検討

老朽化等により施設の建て替えを検討する際には、原則として近隣施設との集約や複合化を検討します。
施設を集約・複合化していくことで、設備の共有化等による面積削減効果や維持管理コストの縮減につながるだけでなく、これまで交流のなかった世代とのつながりが新たに生まれる場として、多世代・多文化交流を促進していきます。

集約



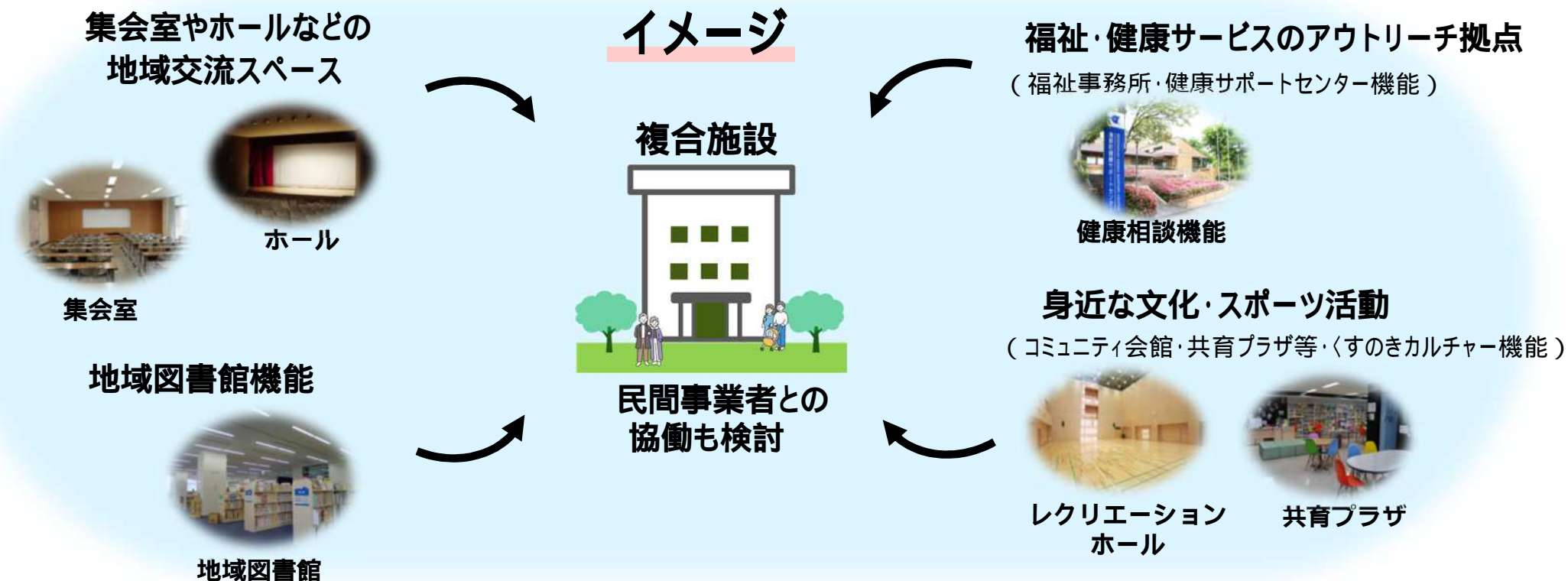
複合化



集約・複合化は、このように進めていきます。

集約・複合化を進める際には、効率的に施設を活用するだけでなく、区民にとっても使いやすい施設となるように、各施設の経過年数や各地域の実状に合わせて、さまざまなパターンを検討していきます。

集約・複合化 イメージ

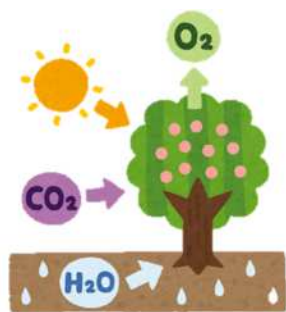


集約・複合化の施設整備の際には、こんなことも考えていきます。

ユニバーサルデザインの施設づくり

- ・すべての人にとっての使いやすさ・暮らしやすさを目指す、「江戸川区ユニバーサルデザインマスタープラン」を策定（2023年3月）しました。
- ・施設整備の際には、出入り口の段差解消、視覚障害者誘導用ブロックの整備、オールジェンダートイレの設置検討、多言語標記等、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、誰もが安心して使いやすい施設の整備を推進していきます。

人にも環境にも
優しい施設づくりが
大切よね



カーボン・マイナスの実現

- ・排出される温室効果ガスよりも植物や森林によって吸収される温室効果ガスの方が多い状態が「カーボン・マイナス」です。
- ・2022年度に表明した「江戸川区カーボン・マイナス都市宣言」に基づき、公共施設においても消費するエネルギーの削減や屋上・壁面の緑化等、脱炭素に向けた取り組みを推進していきます。

オンライン化の推進に合わせた施設づくり

- ・区の手続きは全てオンラインでできる環境を整え、24時間、365日、いつでもどこからでも、手続きできることを目指しています。
- ・また、相談についてもオンラインでできるように整備し、すべての人が気軽に相談できるような環境を目指していきます。



跡地の有効活用

複合化等により生じた跡地は、「公有財産の運用に関する基本方針」（2020年11月公表）に基づき、行政目的としての活用を第一として、区全体や各地域の行政課題に対応可能な活用方法を検討します。なお、学校の統廃合等による跡地は将来の行政需要に備え、当面の間、公園として利用を図ることを基本とします。

公有財産の運用に関する基本方針

1. 公有財産運用の基本的な考え方

区民の貴重な財産の有効活用を最大限に図るため、公有財産（行政財産・普通財産）については、社会状況や周辺状況などをもとに今後の行政需要や区の財政状況等を勘案し、次に掲げる項目を踏まえ、本運用方針に基づいて、その利活用の方向性を決定する。

（1）既存施設の活用

施設の老朽度合いや耐震性を考慮したうえで、新たな用途の機能が十分に図れる場合、原則として既存施設を活用する。

（2）行政需要への対応

行政目的としての活用を第一とし、区民全体の貴重な財産として、全区的または地域的な行政課題に対応しうる有効策を検討する。なお、運営手法等については民間活力の導入も含めて検討する。

2. 公有財産の運用方針

（1）利用計画のある財産については、区が利用する。

（2）現在、利用計画はないが、経緯・立地・面積・形状・都市計画等から区として保有すべき財産については、将来利用するまでの間、公園や広場等として暫定利用を図る。

（3）将来利用の見通しが立った財産については、区が利用する。

（4）民間事業者等が行政需要を担う場合には、民間事業者等に貸付・売却することができる。

（5）その他、区長が特段、必要と認める場合は、この限りではない。

学校跡地は当面の間
公園利用が基本！！



跡地の有効活用で
地域活性化！！



2023年4月に開学した
東京情報デザイン専門職大学

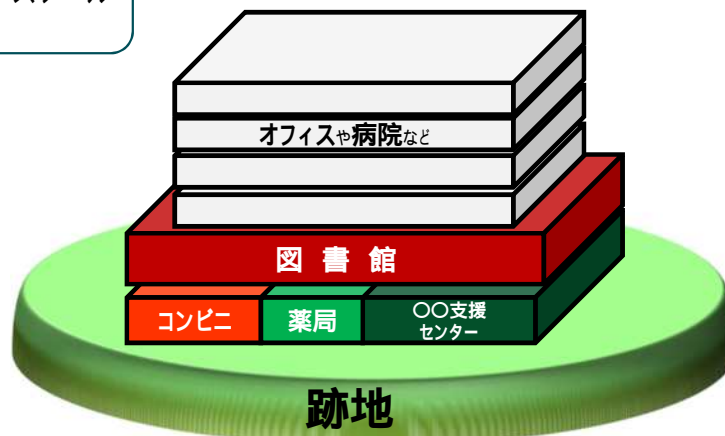
民間資源・活力・ノウハウの積極的活用

区民が必要とするあらゆるサービスを、必ずしも行政のみが提供するのではなく、民間のもつ資源、活力、ノウハウを活用してサービスを提供できるよう、官民の役割分担を行う必要があります。行政と民間で提供するサービスの重複を防ぐとともに、それぞれが得意とする質の高いサービスを行い、財政面での安定を図ります。また、施設整備の際には、建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行い、民間資金の活用やサービス向上を図るために、PPP（Public Private Partnership：公民連携）手法の導入を検討します。

南小岩小学校の改築時に、水泳授業を民間スイミングスクールで行いました



民間スイミングスクールにおける水泳指導の様子



公共施設整備における主なPPP手法

手法	内容	施設・土地の所有イメージ
定期借地（賃借）	民間事業者の財源で、自治体の土地を借地し、設計、施工、維持管理、運営を行う。	
区分所有	民間事業者の財源で設計、施工を行う。建物は自治体と民間事業者が区分して所有する。土地は自治体と民間事業者が区分して所有または共有する。	
PFI（BTO）	民間事業者の財源で設計、施工、維持管理を行う。建物完成後は建物の所有権を自治体に移管したうえで、民間事業者が運営を行う。	
PFI（BOT）	民間事業者の財源で設計、施工、維持管理、運営を行い、契約期間終了後に建物の所有権を自治体に移管する。	
DBO	自治体の財源で、民間事業者が設計、施工、維持管理、運営を行う。	
指定管理者制度	公共施設の運営・維持管理業務を、指定管理者として指定した民間事業者に委ねること。	
包括的民間委託	施設ごと、所管課ごとに発注していた維持管理業務を、まとめて包括的に民間事業者へ委託すること。	
（参考）従来手法	自治体の財源で設計、施工、維持管理、運営を行う。	

施設の類型ごとの整備方針

時代に合わせた施設の再編・整備をしていくには、**将来に向けて必要となる行政サービスのあり方も**合わせて考える必要があります。ここでは公共施設を類型別に現状と課題を整理し、各施設の将来像を、**再編、見直しなどの視点**から整備方針を示していきます。

行政系施設	庁舎（４）、事務所（５）、保健所等（１１）、清掃事務所（３） 防災施設等（６）、その他の行政施設（８）
住宅施設	区営住宅（４）
文化・スポーツ施設	宿泊施設（３）、文化施設（４）、スポーツ施設（１５） 共育プラザ等（８）、図書館（１２）
コミュニティ施設	コミュニティ会館等（３３）、地区会館（４７）
福祉施設	くすのきカルチャーセンター（６）、障害者・障害児施設等（２１） なごみの家（９）、地域包括支援センター（熟年相談室）（２７）
子育て支援施設	区立保育園（３４）、おひさま保育園（２３）、児童相談所・育成室等（２６）
学校教育施設	区立小学校（６６）、区立中学校（３２）、区立幼稚園（１） 閉校した小中学校（９）、その他の教育関連施設（１０）

施設一覧は
巻末に載ってるワ



なごみの家及び地域包括支援センターは、区の委託事業として相談機能を担っていますが、民設民営のため施設数には含みません。
文書庫など行政のみが利用する施設及び、文化財施設は整備方針の対象外としています。

（ ）は施設数

庁舎（本庁舎、第二・第三庁舎、分庁舎）

【現状と課題】

本庁舎全棟が竣工から約40年以上が経過し、老朽化が進んでいます。特に南棟は1962年に建設され、60年以上が経過しています。

行政サービスの新規拡充等によって庁舎の事務スペースが不足しており、近隣民間ビルを賃借することで事務スペースを確保している状態です。

本庁舎の機能は市街地再開発事業で船堀駅前に建設される新庁舎への移転に向けて準備を進めています。



本庁舎

【再編の方針】

新庁舎に機能を集約。オンラインで手続きが完結できる体制を確立していきます。高台まちづくりの一環として、歩行者デッキも整備し、船堀駅周辺地区の防災力強化も目指します。

現在の**本庁舎跡地**については、中央地区のにぎわいを維持することができる活用方法を検討します。

現存の第二庁舎は他用途にて耐用年数まで継続使用を検討します。

新庁舎に移転



各事務所：行政手続き・区民活動の中心

【現状と課題】

区の行政手続きや区民活動の拠点として、本庁舎のある中央地区を除く、小松川、葛西、小岩、東部、鹿骨の5地区に設置されています。

小松川事務所が築55年を超えている等、各事務所とも老朽化が進んでいます。

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進によりオンライン手続きが進む等、来庁しなくてもよい環境が整っていくことが想定されるなか、現在の事務所のあり方についても見直しが必要となります。



小松川事務所

【再編の方針】

建物の耐用年数を迎えた時点で、そのまま同じように**事務所**として建て替えるのではなく、周辺施設が持つ機能や新たに必要となる機能などの複合化を図り、再編します。

これまで事務所が担ってきた窓口機能や地域のネットワークづくりなどの機能は、新たな地域の拠点「（仮称）ミニ区役所」として再編します。各地域に、歩いて行くことができる場所に設置していくことで、より身近に行政サービスを受けることができるようにしていきます。

ミニ区役所の機能は他の施設との複合化も検討していきます。

以下、ミニ区役所と記載します

より身近な
複合施設として
生まれ変わり



ミニ区役所の説明は次ページへ

ミニ区役所とは？

江戸川区では、手続きのオンライン化を進め、
‘来庁しない庁舎’を目指しています。
全ての手続きがオンラインで可能になれば
24時間、365日、いつでもどこからでも、
手続きができるようになります。

だけど...

人と人とのつながりも大切です



2100年の理想の姿



ミニ区役所とは？

利便性とコミュニティの両立に向けて

区内の各地区に「ミニ区役所」を設置し、あらゆる行政手続きや相談業務に対応するとともに、地域のネットワークづくりをサポートする拠点としていきます。また、多世代交流の場を提供するとともに、デジタルデバイド（情報格差）への対応も行い、人にやさしい行政サービスの実現を目指します。

ミニ区役所

区民や地域に根差した身近な相談・交流の拠点

あらゆる行政サービスに対応する拠点

地域のネットワークづくりをサポートする拠点

新庁舎



政策・管理機能
ミニ区役所のサポート
災害対応の司令塔 等

地域のネットワークづくり
(地域コミュニティ支援機能)



相談・交流スペース
(なごみの家・子育てひろば機能)

集約
・
複合化



オンライン手続き支援等
(窓口機能)



何かあったら
ミニ区役所に
行けばいいのね



2100年に向けて・・・

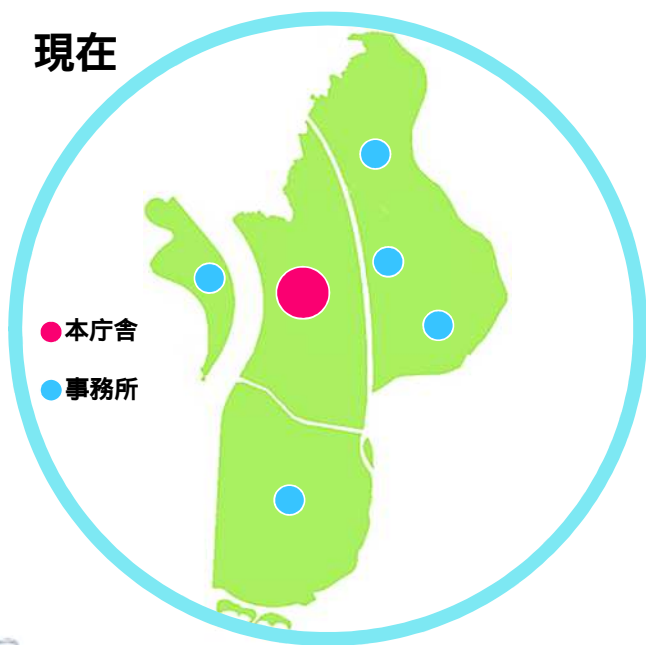
新たな地域コミュニティの拠点「ミニ区役所」

ミニ区役所とは？

これまでの姿とこれからの姿

現在は、本庁舎を中心に各地域に拠点として事務所が配置され、窓口機能や地域のネットワークづくりを担っています。しかしながら、多くの人にとって徒歩圏内とは言えず、建物自体も更新時期を迎えています。人口や歳入が減少すると見込まれる2100年に向けて、事務所の建物が耐用年数を迎えた際には、そのまま同じように事務所として建て替えるのではなく、より身近な場所で行政サービスを受けることが出来るように、区内の各所に新たな地域の拠点となる「ミニ区役所」を整備していきます。

現在



2100年



もっと近くに
あればいいのに

多くの施設が更新時期を迎えはじめる今こそ
2100年に向けて生まれ変わる時です

これならいつでも
歩いて行けるね

ミニ区役所とは？

こんなところに整備を検討していきます

ミニ区役所



- オンライン手続き支援等
(窓口機能)
- ・相談・交流スペース
- ◀ 地域のネットワークづくり



民間のビルや 商店街などの一角



学校



他の公共施設



江戸川保健所・各健康サポートセンター(健康ひろば含む)：公衆衛生や区民の健康づくりの拠点
口腔保健センター：地域で診療困難な方の歯科診療機関

【現状と課題】

江戸川保健所は、都税事務所との合同庁舎であり、都主税局と区がそれぞれに適切な維持管理を行っています。

健康サポートセンターは区内に8箇所あり、各種専門スタッフが常駐しています。乳幼児の健診など、さまざまな健康相談等を定期的に行っている地域の保健施設です。

健康ひろばは、清新町健康サポートセンターの付属的施設です。

口腔保健センターは、地域の歯科医院で治療を受けることが困難な方の診療を行っています。専任医師のほか、障害者(児)診療の特別な研修を受けた医師が診療します。



小岩健康サポートセンター

【再編の方針】

江戸川保健所は、施設の老朽化のため、機能を新庁舎に移転します。

健康サポートセンターは、現在の主要な用途である乳幼児健診の対応を、医療機関への委託を検討することでスペースの削減を図り、施設数や規模は、人口の減少に合わせた適正化を図ります。

口腔保健センターは、受診が必要な障害者(児)や高齢者のため、機能、施設とも維持します。

保健所：
新庁舎へ移転

健康サポートセンター：
適正化

口腔保健センター：
存続・維持

清掃事務所：廃棄物の処理及び再利用、その他清掃作業

防災施設等：災害時に備えた備蓄倉庫

【現状と課題】

清掃事務所は、ごみの収集・運搬作業の拠点です。ごみ収集車両の洗車場など、特有の設備があります。区内には3箇所（小松川、小岩、葛西）設置されています。中でも、消防署との合同庁舎である小松川分室は、建築後51年が経過し老朽化が進んでいます。

防災施設は、備蓄倉庫として区内6箇所設置されています。災害時における備蓄物資の保管や他自治体からの流通備蓄物資の受入れを目的とした施設であり、施設の強靱化や防災備蓄倉庫としての機能を強化していく必要があります。



小岩清掃事務所

【再編の方針】

清掃事務所は、更なるごみの減量と効率的な収集作業を目指したうえで、人口の減少に合わせた施設数や規模の適正化を図ります。

防災施設は、災害対応に不可欠な施設であるため、機能の強化・拡大を検討します。

清掃事務所：
適正化

防災施設：
**強化・拡大
の検討**

その他の行政施設

【現状と課題】

(旧)日光林間学校は、区内の小中学生を対象に、校外学習の場として利用されていました。老朽化に伴い2019年3月に閉校しています。

(旧)くつろぎの家は、区内在住の熟年者の憩いの場として利用されていました。隣接する江戸川清掃工場の建て替えによる熱供給の停止に合わせて、2020年9月に閉館しています。



(旧)日光林間学校

【再編の方針】

(旧)日光林間学校は解体し、跡地には小中学生の体験学習・環境教育の場や、区民活動の場として利用可能となるような施設を検討します。

(旧)くつろぎの家の跡地には、清掃工場からの余熱の供給があるため、その余熱を有効活用できる施設の整備を検討します。

新たな施設の
整備を検討

区営住宅：住宅困窮者対策

【現状と課題】

区営住宅は、公営住宅法に基づいた、住宅に困窮する区民の生活の安定と福祉の増進に資するための施設であり、対象となる区民が賃貸し利用できる住宅施設です。

2002年6月に東京都からの移管を受けた小規模な都営住宅4棟全65戸を、区が管理していますが、全棟が築後30年以上経過し、老朽化が進んでいます。



区営住宅

【再編の方針】

区営住宅は、建て替えは行わず、適切な修繕等を行い長寿命化を図ります。住宅困窮対策として、新たな住宅施策のあり方についても検討していきます。今後は民間施設の活用や、家賃を補助するなどの事業を検討します。

住宅施策の
検討

宿泊施設：区民の別荘、来訪者対応

【現状と課題】

穂高荘は長野県安曇野市に、**塩沢江戸川荘**は新潟県南魚沼市にあり、どちらの市も区の友好都市となっています。キャンプ場や農園、大浴場等を備え区民の健康増進施設として利用されているほか、友好都市間の交流の拠点としての役割も担っています。

ホテルシーサイド江戸川は、都内唯一の公営ホテルとして、区内外を問わず多くの方が利用しています。

穂高荘



塩沢
江戸川荘



ホテル
シーサイド江戸川



【再編の方針】

宿泊施設は、収支状況を見極めながら、民間への運営移管など検討し、機能を維持していきます。

より多くの方が利用できる**宿泊補助制度**を導入する等、新たな区民サービスのあり方についても検討します。

存続・維持

文化施設 1

【現状と課題】

タワーホール船堀は、駅前に立地し、イベントホール等を備え、コンベンションや展示会、ブライダルなどで利用されています。区内を一望できる展望塔は、区のシンボルとなっています。また、区の重要施策である健康、文化、産業の向上を図る機能も有しています。

総合文化センターは、座席数1,500席の区内最大のホールを有します。アーティストや歌舞伎、落語等の公演に利用されるとともに、区民の発表の場としても活用され、本区文化の振興に寄与しています。



タワーホール船堀

【再編の方針】

タワーホール船堀は、新庁舎の移転に合わせて機能を再編しながら、施設を継続していきます。建て替えの際には、駅からのアクセスの良さを活かし、「みる」文化の拠点としても活用される、にぎわいの創出につながる施設を目指します。

総合文化センターは、小公演・発表会など、区民の活動の発表の場として活用できるほか、各種公演が開催可能な施設を目指します。

「みる」活動と
「身近な」活動
に役割分担
を整理

文化施設 2

【現状と課題】

グリーンパレスは、各種文化活動や会議などの利用のほか、多人数での宴会や法事などに利用可能なバンケットルームを有しています。築58年を経過し老朽化が進んでいます。

篠崎文化プラザは、民間複合ビルの一部を区が所有し、「江戸川総合人生大学」や図書館などを設置しています。



グリーンパレス

【再編の方針】

グリーンパレスは、本庁舎の移転後も中央地区のにぎわいを維持することができる活用方法を検討します。なお、主要な機能であるバンケットはタワーホール船堀に集約し、その他の機能は他施設との複合化を検討します。

篠崎文化プラザの主要な機能である総合人生大学や図書館機能は、他施設との複合化等により維持します。

「みる」活動と
「身近な」活動
に役割分担
を整理

スポーツ施設（屋内）

【現状と課題】

総合体育館は、主競技場のほか温水プール、柔剣道場、トレーニング室、アーチェリー場などを有し、さまざまなスポーツ活動や区民大会で利用されている施設です。築53年を経過し老朽化が進んでいます。

スポーツセンターも総合体育館と同様に、主競技場のほか温水プール、柔剣道場、トレーニング室等を有し、日常的なスポーツ活動や区民大会で利用されています。

スポーツランドは、区営のアイススケートリンクとして、区内外から幅広い世代の人に利用されています。また、夏場は区内唯一の50mプールとして利用されています。



総合体育館



スポーツセンター



スポーツランド

【再編の方針】

総合体育館は、現地での建て替えは建築制限により不可のため、機能の移転を検討します。跡地は、「公有財産の運用に関する基本方針」に基づき検討します。

スポーツセンターは、機能の拡大も踏まえ建て替えを検討し、駅からのアクセスの良い立地を考慮した、にぎわいの創出につながる施設を目指します。

スポーツランドは、アイススケートリンクの通年化を検討します。プール機能は他の施設へ機能移転することを検討します。

「みる」活動と
「身近な」活動
に役割分担
を整理

スポーツ施設（屋外・1）

【現状と課題】

陸上競技場は、日本陸上競技連盟の第3種公認を取得しており、トップレベルの競技会も開催されています。

7,000席の観客席を有し、プロスポーツなどの「みる」スポーツの拠点としても活用されています。

江戸川区球場は、総合レクリエーション公園内に位置し、4,000席の観客席を有します。草野球から各種広域大会まで幅広く利用されています。

臨海球技場、葛西ラグビースポーツパークは、それぞれ葛西水再生センター、新左近川公園駐車場の屋上を利用した施設です。



陸上競技場



江戸川区球場

【再編の方針】

陸上競技場は、現状の第3種公認レベルは維持しつつ、「みる」スポーツの拠点として、プロスポーツの興行に適した仕様への改修についても検討します。

江戸川区球場は、23区内の公営球場で硬式・軟式野球ができる数少ない球場としてニーズが高いため機能を維持します。さらに、建て替えの際には「みる」スポーツへの対応も含めて検討します。

臨海球技場、葛西ラグビースポーツパークは、主たる施設の建て替え時に、競技人口の推移やニーズを踏まえ、機能を維持していきます。

「みる」活動と
「身近な」活動
に役割分担
を整理

スポーツ施設（屋外・2）

【現状と課題】

新左近川親水公園カヌー場は、東京2020オリンピックの区内でのカヌー会場決定を契機に、カヌーをより身近に体験できる場として、2019年に整備されました。初心者体験エリアである多目的カヌー場や静水面のスラローム場、200mのスプリント場、カヌーポロ場といった、複合的にカヌースポーツが楽しめる区の特徴的なスポーツ施設となっています。

その他に、**水辺のスポーツガーデン**や、野球・ソフトボールグラウンド、サッカー・ラグビーグラウンド、テニスコートなどの多くの屋外施設（河川敷含む）があり、区内外の利用者に利用されています。



新左近川親水公園カヌー場



水辺のスポーツガーデン

【再編の方針】

新左近川親水公園カヌー場は、東京2020オリンピックの会場となったカヌー・スラロームセンター（都施設）とともに、カヌースポーツの普及・発展の場として存続し、「カヌーのまち江戸川区」としての魅力を発信していきます。

その他の屋外施設は、適切に維持管理し、スポーツ人口の推移を踏まえたうえで施設数や規模の適正化を図るとともに、さまざまなスポーツがより身近で安全に楽しめる環境（人工芝化・照明設備等）の整備も検討していきます。

「みる」活動と
「身近な」活動
に役割分担
を整理

共育プラザ・子ども未来館：青少年健全育成の場

【現状と課題】

共育プラザは、区内7箇所で開催されており、いずれも保育園や地域施設などの複合施設となっています。幅広い世代の子どもを対象としており、共育・協働の理念を実践する場として、地域における世代間の交流を通じ、青少年の健全な育成等を図る施設です。

子ども未来館は、子どもが科学や自然、地域の歴史等を専門的、継続的かつ体験的に学ぶことができる場を提供することで、未来を担う創造性豊かな子どもの育成に寄与するための施設です。篠崎子ども図書館を併設しています。



共育プラザ南小岩

【再編の方針】

共育プラザは、未来を担う子どもたちの健全な育成の場として、ラウンジ、多目的スポーツルーム、音楽室、学習室、調理スペース等の機能を維持します。集会室機能等を複合化した施設での運営を検討し、施設数や規模は、人口の減少に合わせた適正化を図ります。

子ども未来館は、拠点を維持しつつ、複合施設等へのサテライトを設置し機能拡大します。また、オンライン講座、各地域での出前講座による運営も検討します。

共育プラザ：
適正化

子ども未来館：
拠点を維持

図書館

【現状と課題】

図書館は、区内で全12館が運営されています。そのうち1館は幼児や小学生のための篠崎子ども図書館、2館は比較的小規模なコミュニティ図書館です。

図書資料の閲覧や貸出のほか、子ども向けのお話会や体験型イベント、大人向けの歴史講座や作家講演会などを開催しています。区民の約3割が登録をしており、利用者が多くニーズが高い施設です。



中央図書館

【再編の方針】

中央図書館は、引き続き閉架書庫機能が重要なため存続し、**地域図書館**は、人口の減少に合わせた施設数や規模の適正化を図ります。なお、整備の際には周辺施設や民間施設等との複合化を検討します。

学校図書館を「**区立図書館サテライト**」として活用し、区民が徒歩圏内の身近な場所で資料の貸し借り等の図書館サービスを受けられる環境を整備します。

整備の際には、現在策定中の今後取り組むべき施策やサービスを示す「(仮称)江戸川区立図書館基本計画」も踏まえて検討します。

他施設・
民間施設等との
複合化検討

区民館・コミュニティ会館・地区会館：区民活動・コミュニティ形成の場

【現状と課題】

区民館、コミュニティ会館は、合わせて33箇所に設置されています。集会室、和室、音楽室、スポーツルーム等が整備されており、区民の文化の向上、福祉の増進、スポーツ活動の振興及びコミュニティの形成に寄与しています。また、各種行事、サークル活動でも利用され、地域における健全な余暇活動の場と交流の機会を提供しています。

地区会館は、47箇所に設置されています。地域住民で構成された運営協議会が施設運営を行っています。地域住民の福祉の増進及びコミュニティの形成に寄与しています。



長島会館

【再編の方針】

区民館、コミュニティ会館は、機能を維持し、人口の減少に合わせた施設数や規模の適正化を図ります。

地区会館は、利用状況などを勘案し、役割・機能分担等について、より検討を深めていきます。

それぞれにおける区民活動・コミュニティ活動の場としての機能は、新たに整備される複合施設・ミニ区役所や学校施設の活用も検討していきます。

多目的利用
共用による
適正化

くすのきカルチャーセンター：熟年者の文化活動の場

【現状と課題】

くすのきカルチャーセンターは、全6施設で運営されており、熟年者が趣味を活かし教養を高め、生き生きとした毎日を過ごせるように、さまざまなカルチャー教室を実施しています。利用者は多く、熟年者の文化活動の場として大きな役割を担っています。



葛西くすのきカルチャーセンター

【再編の方針】

中央くすのきカルチャーセンターの事務局機能は、新庁舎のある船堀地区へ移転を検討します。

これまでセンターで行っていた教室等は、集会室などを備えた他の施設での事業運営に順次切り替え、出張教室やオンライン教室など多様な受講体制の確立を推進し、機能拡大します。施設数や規模は、人口の減少に合わせた適正化を図ります。

教室などの
共用利用による
適正化

障害者施設・障害児施設：障害者・障害児の自立支援・社会活動参加推進施設

地域活動支援センター：精神障害者などへの生活支援・相談

【現状と課題】

障害者施設は、障害者総合支援法に定められたサービスを行う施設であり、障害者の自立及び社会活動への参加を推進するための施設です。

就労を目指した利用者の働く場や、知識や能力向上のための機能訓練の場、生活介護、短期入所を行う場など、日常生活支援まで幅広い役割を担っています。

障害児施設は、児童福祉法に定められたサービスを行う施設であり、児童発達支援センターを2箇所（「発達相談・支援センター」「篠崎児童発達支援センター」）整備しています。

相談支援や療育事業を実施するとともに、巡回支援や関係機関との連携を通じて、地域の中核的な支援機関を担っています。

地域活動支援センター(型)は、「障害者が、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進その他厚生労働省令で定める便宜を供与する施設」です。

併せて、相談支援事業（生活相談・就労相談等）も実施しており、区内4施設のうち、3施設は区有施設として設置されています。現在、利用者は増加傾向にあります。

【再編の方針】

障害者施設・障害児施設、地域活動支援センター(型)は、対象者数の増減に合わせた施設数や規模の適正化を図ります。



虹の家

対象者の増減に
合わせた適正化

< 施設の類型ごとの整備方針 >

福祉施設

なごみの家：誰もが相談でき、気軽に集える地域のネットワークづくりをサポートする拠点

地域包括支援センター(熟年相談室)：熟年者と介護者に向けた総合相談窓口

なごみの家及び地域包括支援センターは、民設民営のため区の施設数には含んでいませんが、区の委託事業として相談機能を担っているため、施設の類型別の整備方針として示します。

【現状と課題】

なごみの家は、年齢や障害の有無に関わらず、誰もが相談でき、気軽に集える地域の拠点として、区内9箇所に設置されています。

コミュニティソーシャルワーカーや保健師などの専門職が、地域の方々のサポートをしています。

地域包括支援センターは、熟年者やその家族から介護や認知症を含む、生活全般に関する相談と支援を行う地域の拠点として、区内27箇所（分室を含む）に設置されています。

社会福祉士や保健師などの専門職が配置され、相談支援や熟年者福祉サービスの申請受付などを行っています。自立支援に向けた要支援者の介護予防支援(ケアプラン) 等も作成しています。

【再編の方針】

なごみの家は、行政手続き機能・相談機能の役割が一体となったミニ区役所にその機能を包含することで、区民の徒歩圏内に身近なサービスを提供できる体制を実現します。

地域包括支援センターは、対象者数の増減に合わせた施設数や規模の適正化を図ります。



なごみの家一之江

ミニ区役所
への複合化検討

区立保育園・おひさま保育園

【現状と課題】

保育園は保護者の就労や、病気などで家庭での保育が困難な乳幼児の保育施設として大きな役割を担っています。

区立保育園は、33園と分園1園が設置されています。

おひさま保育園は、区立保育園の民営化等により開設した施設で社会福祉法人えどがわにより23園運営されています。

障害児・医療的ケア児など保育ニーズが多様化しており、保育園の担うべき新たな役割が求められています。

保育を必要とする世帯の割合が増加していますが、少子化の進行により保育ニーズが減少に転じることで、将来的には保育施設の定員割れが発生する可能性があります。



松江保育園



小松川おひさま保育園

【再編の方針】

保育園は、将来的に保育園が目指す姿（役割、機能等）を整理し、保育園機能だけでなく地域の子育て支援拠点としての多機能化を検討し、その後、基本的な配置の考えを整理していきます。

おひさま保育園は、社会福祉法人えどがわと協議しながら今後の施設のあり方を検討していきます。

保育ニーズの増減に合わせた施設数や規模の適正化を図ります。

子育て支援拠点
として施設再編を
検討

児童相談所・育成室

【現状と課題】

児童相談所は、18歳未満の子どもに関する総合相談窓口であり、里親の登録に関する手続きなども行っています。

育成室は、4箇所を設置されており、就学前の心身の発達に心配や遅れのある子どもが保護者と共に通っています。子どもたちが楽しく遊びながら日常生活に必要な身辺自立の向上と心身の発達を促すことを目的として、児童発達支援事業を行っています。

育成室は機能を強化し、児童発達支援センターとしての役割が求められています。



児童相談所

【再編の方針】

児童相談所は、機能を維持し、既存施設を存続し運営します。

育成室は、児童発達支援センターとして機能を強化し、併せて民間への委託を進めます。

児童相談所：
存続・維持

育成室：
民間委託

その他の子育て関連施設

【現状と課題】

人権・男女共同参画推進センターは、講座・講演会などを通じた普及・啓発活動や、夫婦・親子など家庭内のさまざまな悩み、問題の解決に向けた相談窓口を設置しています。

子育てひろばは、19箇所さまざまな施設との併設で設置されています。就学前の乳幼児とその保護者を対象とした子育て支援事業として、仲間づくりや情報交換ができる場を提供しています。

そよ風松島荘は、母子家庭で、子どもの養育や生活上の経済的困窮などさまざまな課題を抱える母子が入所し、自立に向けた就労支援、生活支援、子育て支援、学習支援等を行う母子生活支援施設です。



人権・男女共同参画推進センター



臨海子育てひろば

【再編の方針】

人権・男女共同参画推進センターは、関連部署との連携を強化するため、新庁舎へ移転します。

子育てひろばは、地域に根差した身近な子育て拠点として、ミニ区役所等への設置を推進します。

そよ風松島荘は、さまざまな課題を抱える母子家庭を支援するため、機能を維持します。

人権センター：
新庁舎へ移転

子育てひろば：
**ミニ区役所等
への複合化検討**

そよ風松島荘：
維持

区立幼稚園・小学校・中学校・旧小中学校

【現状と課題】

区立幼稚園 1 園、区立小学校 66 校、区立中学校 32 校を運営しています。概ね築後50年以上経過した小中学校を対象とし、順次改築・統廃合を進めています。老朽化した学校施設の大規模な改修工事を行い、教育環境の向上・建物の安全性確保・延命化を図っています。対象施設は建築・改修後の経過年数等を基準とし、老朽度、保守点検結果等を検討して優先順位の高いものから実施しています。

閉校となった9校は、新校舎建設の際の仮校舎利用や民間への貸付けを行っています。



船堀小学校

小松川中学校

【再編の方針】

区立幼稚園、小・中学校は、将来的な園児、児童・生徒数の減少を見据えて改築・統合を進め、適正化を図ります。

学校改築の際には、さまざまな活動の拠点として機能するよう、学校施設のみではなく、文化・スポーツ施設機能や、図書館機能、コミュニティ施設機能などの併設も視野に、検討を進めていきます。

水泳授業の継続的な実施を前提とした「学校プールの整備方針」を策定し、温水化したうえでの複数校での共同利用や地域開放を検討します。

旧小中学校は、劣化度調査のうえ、使用の継続を検討します。なお、廃止の際には避難所の機能維持のための工夫も検討します。

- ・人口に合わせた再編の推進
- ・地域の様々な活動の拠点に

その他の教育関連施設

【現状と課題】

教育相談室は、教育上の悩みをもつ児童・生徒と保護者等を対象に相談事業を行い、悩みや心配事の解消に向けた支援を行っていくことを目的とした施設です。

学校サポート教室は、さまざまな要因により不登校の状態にある児童・生徒が、学校外の居場所として通う施設です。学習支援や個人面談及び体験学習等を通じて、集団での協調性や自主性を育成し、子どもたちの笑顔を引き出していけるような支援をしています。



みなみかさい学校サポート教室

【再編の方針】

一人ひとりの個性を大切にしながらその子に合った学びの展開が出来る環境を整えるため、対象者の増減に合わせた施設数や規模の適正化を図ります。

地域に
合わせた再編

(2) 生きがいづくり（文化・スポーツ・趣味）ができる環境の確保

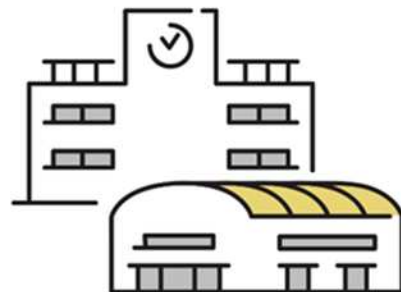
生きがいづくりができる環境とは？

「する」環境の整備 ～身近な施設をさまざまな活動の拠点～

「みる」環境の整備 ～未来へ向けた魅力的な施設の整備～

「する」環境と「みる」環境 ～江戸川区の目指す姿～

2100年に向けて検討していく文化・スポーツ施設



誰もが生き生きと自分らしく暮らすために…

誰もが生き生きと自分らしく暮らすためには、趣味や文化・スポーツ活動を通じた人との交流は欠かせません。

これらの活動を通じ、生きがいづくりができる環境を確保していくことも、「ともに生きるまち」の実現に向けた公共施設の役割と考えます。

生きがいづくりができる環境とは？

生きがいづくりができる環境の確保には、文化やスポーツ施設の役割が重要です。

文化・スポーツには、区民自らが学んだり、体を動かす「**する**」要素と、一流アーティストの演奏やプロスポーツのアスリートの活躍を身近に肌で感じることでできる「**みる**」要素があります。

誰もが自分らしく2100年の未来で過ごしていくためには、その双方に配慮した施設整備が必要と考えます。



文化・スポーツ施設

する！ × みる！



する！の効果

- ・身体・精神・社会的に良好な状況を保つことができる
- ・活動する仲間が増え、趣味を通じたコミュニティが生まれる
- ・習慣化することで、毎日の生活に張り合いが生まれる など...

みる！の効果

- ・やってみたいという気持ちを後押しし、「する」につながる
- ・区の知名度向上、シビックプライドの醸成が図られる
- ・興行の実施により、施設使用料の増収が見込まれる など...



身近な場所での実現！

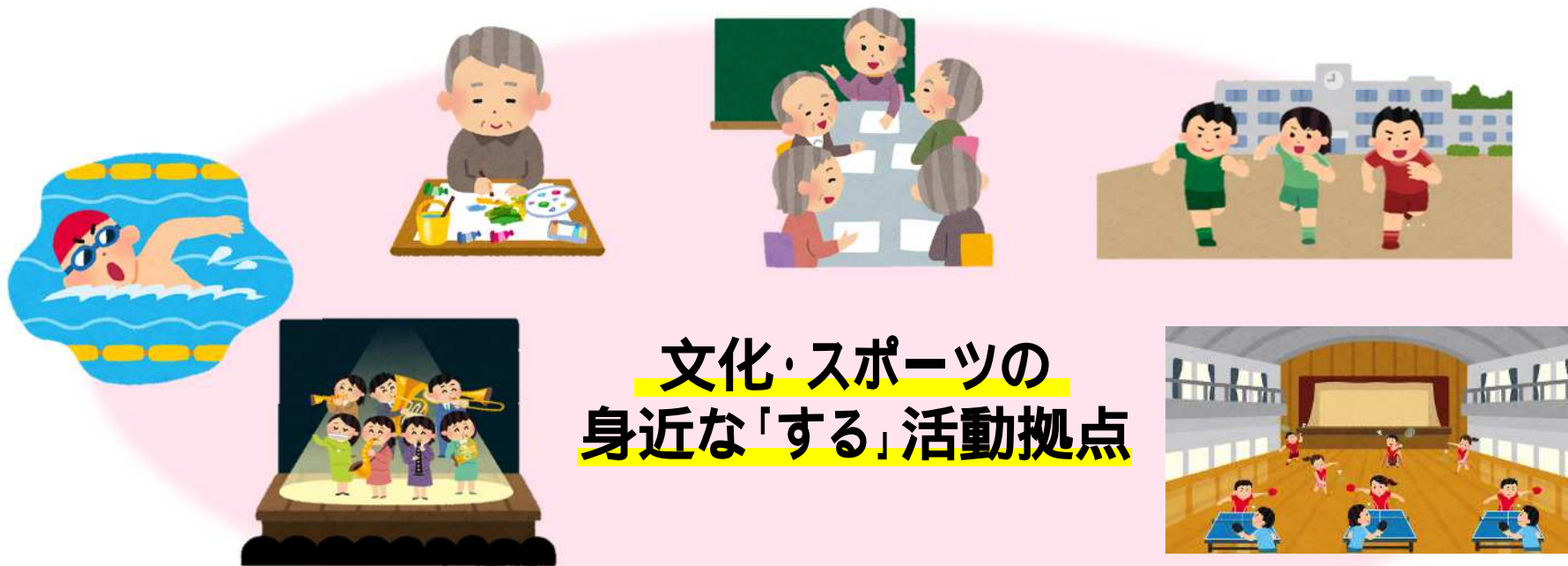
「する」環境の整備 ~ 身近な施設をさまざまな活動の拠点に ~

区民が日々の生きがいづくりとなる文化・スポーツ活動を行うためには、歩いて行ける身近な場所でさまざまな活動ができる環境を整備する必要があります。区では、現在それらの役割を担っている区民館やコミュニティ会館、河川敷グラウンド等に加え、誰にとっても最も身近で場所も分かる学校を身近な活動の拠点として位置づけます。

学校改築の際には、文化・スポーツ施設機能や、図書館機能、コミュニティ施設機能などの併設も視野に、検討を進めていきます。



身近なところに
活動の拠点を！



文化・スポーツの
身近な「する」活動拠点

「みる」環境の整備 ～ 未来へ向けた魅力的な施設の整備～

日々の生きがいづくりの場が必要な一方で、活動の発表や区民大会などができる場の環境を整備していくことも必要です。

またそれだけでなく、例えばプロスポーツを観ることができる競技場、アーティストのコンサートを観ることができるアリーナなど、高いレベルのパフォーマンスを身近に感じることができる環境を整えていくことも、文化・スポーツに対する意識のさらなる向上や振興には欠かせないことだと考えます。

区内外から多くの人を訪れる、区の象徴となるような魅力ある施設を建設することで、「する」だけでなく、「みる」環境も整備し、文化・スポーツ意識の向上や振興、シビックプライドの醸成が図られるような施設づくりを検討していきます。

「みる」環境も
整備していきます！！



「する」環境と「みる」環境 ~ 江戸川区の目指す姿 ~

2100年に向けて
検討していく施設は、
次ページで...



現在でも施設の稼働率が高い大型施設。2100年の未来においても相当数の利用が予測され、**現在と同程度の施設の必要性**はあると考えられます。

一方で、「みる」という観点から見ると、現在の区の環境は十分であるとは言えない状況です。大型施設の新設や改築をする際は、交通の利便性などの立地条件や**民間資金の活用可能性**を検討し、**大規模な興行に適した規模へのグレードアップ**を目指します。

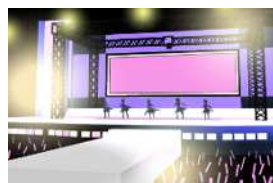
また、あわせて**積極的にプロスポーツチームを誘致**するなど、ハード面の整備だけではなくソフト面の環境整備も図っていきます。

みる！中心



する！中心

プロの興行にも対応
多くの人が感動！



競技会・発表で
日常の活動を披露！



日常の活動
身近なところで誰もが！



「みる」+「する」環境

屋内アリーナ
スタジアム（野球場）
フットボールパーク
文化ホール（大規模） など

「する」+「みる」環境

屋内アリーナ
アイススケートリンク
陸上競技場
文化ホール
多目的グラウンド
など

「する」環境

学校
河川敷グラウンド
新たな複合施設 など

2100年に向けて検討していく文化・スポーツ施設

民間との協働やプロチームとのタイアップを推進

施設機能	目指す姿	求める規模等	数
文化ホール（大規模）	高音質音響を設え、クラシック音楽や一流アーティストの公演開催可能な施設。	座席数2,500席以上	1
文化ホール（中規模）	小公演・発表会など、区民の活動の発表の場として活用できるほか、各種公演が開催可能な施設。	座席数1,500席以上	1
文化ホール（小規模）	小公演・発表会など、地域の活動の発表の場として活用できる施設。	座席数500席以上	2
コンベンションホール	国際的な学会会議等の開催や大規模な展示会、バンケットとして利用可能な施設。	収容人数1,500人以上	1
文化・芸術創造拠点	芸術活動のアトリエ等として利用し、日常の創作から小規模な展示会利用が可能な施設。	閉校となった学校等を活用	1
屋内アリーナ	一般利用や区民大会等が開催可能な設備を備えた施設。 プロスポーツチームのホーム利用の誘致等、高い稼働率と収益性を確保することにより、座席数の増等、興行開催や音楽コンサートの利用が可能な設備を備えることも検討。	座席数500席以上	3
スタジアム（野球場）	プロ野球等の興行開催が可能な設備を備えることで、区内外からの集客や地域ににぎわいをもたらす施設。	座席数20,000席以上 両翼98m中堅122m	1
フットボールパーク	プロスポーツの興行開催が可能な設備を備えた区内外向けの施設。 プロスポーツチームのホーム利用を誘致することにより、高い稼働率と収益性を確保。	座席数15,000席以上 ピッチサイズ105m×70m	1
陸上競技場	一般利用や区民大会・大規模な大会等が開催可能な設備を備えた施設。	第3種公認(現状)以上	1
温水プール	一般利用や区民大会等が開催可能な設備を備えた施設。 また、障害者利用に特化したプールも整備。	25m（短水路）	3
アイススケートリンク	年間を通して一般利用やアイスショーなどが開催可能な施設。	座席数500席程度	1

(3) 災害対策の充実

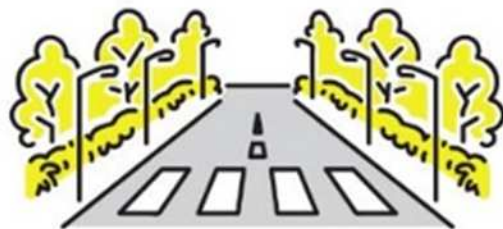
(安全・安心なまちづくりと災害に強い施設整備)

災害に強いまちづくりから魅力あるまちづくりへ

安全・安心のベースとなるインフラ施設の適切な更新・維持管理

防災拠点の強化

建物の防災性能を確保

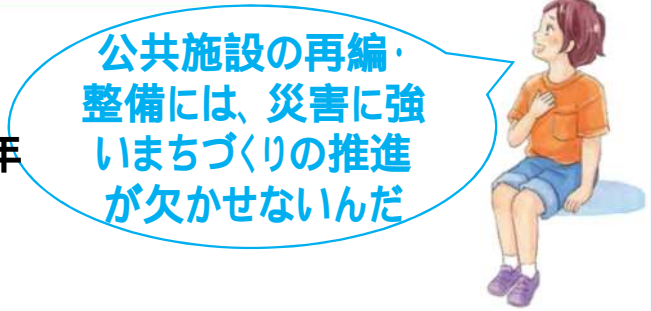


安全・安心を守り、さらに…

本区はこれまでも、災害から区民の生命・財産を保護し、その安全・安心を守るために「災害に強い」まちづくりを推進してきました。2050年ごろにはそうした整備も概ね完了し、その考え方は「魅力ある」まちづくりに比重が移っていきます。

公共施設の再編・整備は、こうした取り組みを前提・ベースとして、さらに安全・安心な整備を進めていきます。

災害に強いまちづくりから魅力あるまちづくりへ



2050年頃には、都市計画道路整備や密集住宅市街地整備促進事業、駅周辺のまちづくり事業などが完了し、まちづくりの考え方は「災害に強い」から「魅力ある」まちづくりに比重が移ってきます。

2100年に向けた公共施設の再編・整備計画の推進には、区全体のまちづくり推進を基礎に、「**災害対策**」と「**魅力**」両方の視点に立った取り組みを進めます。

安全・安心なまちづくりと災害に強い施設整備に向けて、次の3つの視点で取り組んでいきます。

安全・安心のベースとなるインフラ施設の適切な更新・維持管理

日常生活に欠くことのできないインフラ施設は、高度経済成長期から今日にいたるまで次々と整備されてきました。それらの維持管理に係る財政的な負担は大きく、経年と共に一斉に老朽化が進むなか、更新・維持管理費は今後さらに増大することが見込まれます。

今後も安全・安心を確保すべく、より効率的で効果的な更新・維持管理の推進に取り組んでいきます。

インフラ施設とは、区が管理する**道路等**（車道、歩道、緑道、街路灯、街路樹など）や**橋梁等**、**公園等**（公園、親水公園、親水緑道）、**特定施設**（地下駐輪場など）、**公衆手洗所**、**水門等**です。

適切な更新・維持管理に向けて

インフラ施設は各種個別計画に基づき、日常・年次・定期（5年に1回）点検を適切に実施し、不具合箇所の早期発見と迅速な対応に努め、安全・安心で快適な環境を継続的に確保し維持管理費の縮減に取り組んでいきます。

各種個別計画に基づいて管理を行い、**計画的な予防保全型の修繕・更新**を行いライフサイクルコストの縮減を図ります。

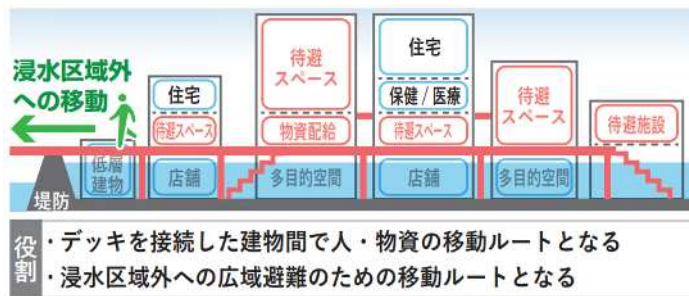
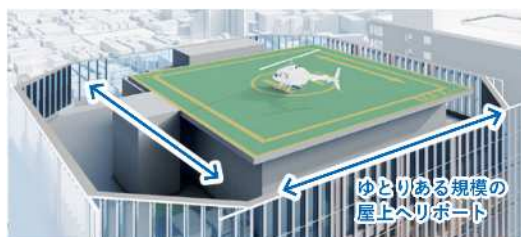
施設の計画・設計・建設から、その施設の維持管理、解体・廃棄までに要する費用の総額

道 路	「江戸川区道路舗装長寿命化修繕計画」	（2022年4月）
橋 梁	「江戸川区橋梁等長寿命化修繕計画」	（2022年3月追記）
公 園	「江戸川区公園施設長寿命化計画」	（2020年8月）
特定施設	「江戸川区土木特定施設長寿命化修繕計画」	（2017年3月）

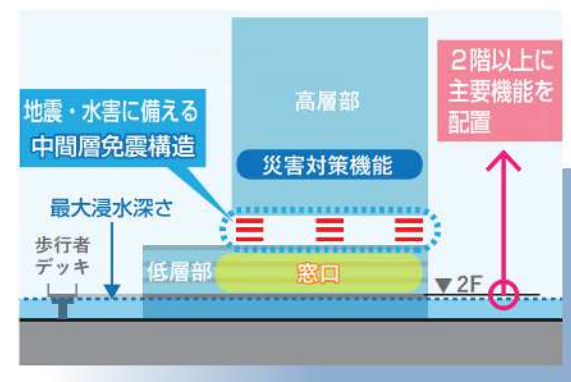
防災拠点の強化

船堀に建築する新庁舎は、区の災害対策拠点として、「**日本一の防災庁舎**」を目指します。災害時の人命確保や復旧・復興に向けた司令塔として、迅速な災害時連携の実現や、区民に向けた確実な情報発信を行います。また、大地震や大規模水害による長期間の自立運用を見据えたインフラ整備や、発災後の被害を最小限に抑えるための取り組みなど、**多角的な視点による災害対策機能を備えます。**

大規模地震、洪水・高潮による大規模水害や、新たな感染症をはじめ、さまざまな災害が発生しても、**区民の安全・安心を守る防災拠点**として機能継続できる強靱な庁舎となります。



船堀地区では、高台まちづくりの考え方のもと、大規模水害にみまわれ、浸水が継続している状況においても、安全に避難することができる、建物と建物をつなぐ歩行者デッキの整備を推進していきます。



- ・免震層上部に基幹設備を配置 (災害対策本部機能、情報管理機能など)
- ・エネルギーの多重化 (非常用発電、中圧ガス、太陽光発電など)
- ・災害用浄水システム、防災井戸、緊急汚水槽、マンホールトイレの設置
- ・電源、通信回線の多重化

建物の防災性能を確保

区の建物はすべて耐震化を完了していますが、今後も公共施設の建て替えや新設の際は、耐震化に加えて、災害時にそれぞれの施設が果たす役割や重要性、維持管理コスト等を勘案し、望ましい防災性能を備えます。

【避難所機能の充実】

- ・避難所として、避難生活の場となる小中学校は、建て替えの際に機能を充実します。
- ・高規格堤防（スーパー堤防）整備との連携や、屋内運動場や備蓄倉庫を想定浸水の水位以上に設置する等の検討を行います。



かまどベンチ



マンホールトイレ



防災井戸



太陽光発電



ポータブル蓄電池

シャワー、衛生施設、福祉避難室なども設置していきます



浸水しない高さ以上にて
避難所対応

非浸水
フロア

1F

1Fは教室など

屋内運動場

水害に対応できるように
屋内運動場を避難用として
浸水しない場所に設置

4 おわりに

- 1 **新たな施設の整備や誘致の検討**
- 2 **財政負担の低減に向けた新たな取り組み**
- 3 **計画の推進に向けて**
- 4 **策定の経緯**

新しい施設も
整備されるんだね



4-1

新たな施設の整備や誘致の検討

区のさらなる魅力向上やにぎわいの創出に向けて、施設を減らすだけではなく**新たな施設の整備や誘致**も行っています。

区内外から人が往来する施設を整備することで**区全体の経済の活性化**も期待できます。2023年4月には、民間事業者を活用した総合レクリエーション公園と新左近川親水公園のリニューアル事業が開始したほか、2023年11月には「魔法の文学館」が開館します。また、プラネタリウムなど集客施設の整備の検討も進めます。



総合レクリエーション公園
リニューアル



魔法の文学館
(角野栄子児童文学館)

さらに、大学や病院、民間企業を誘致することで、**雇用の創出**や**医療水準の向上**も期待できます。今後は、法規制の動向や地域の声を伺いながら、積極的な姿勢で臨んでいきます。

他にも、新たなコミュニティ形成に向けて、国籍などに関係なく集うことができる**国際交流センター**や、重い病気を患う子どもとその家族も安心して利用できる**子育て支援系複合拠点**の整備を検討します。

いろいろな取り組みを
検討していくなだね



4-2

財政負担の低減に向けた新たな取り組み

民間活力との役割分担

施設の整備や運営において、**民間活力との役割分担**を進めていきます。

整備では、区の負担を軽減させ、質の高いサービスを提供することを目的に、PPP/PFI手法を導入し、**民間の資金やノウハウを活用**することを検討します。

また運営面では、民間で提供可能なサービスは民間で担うことを念頭に、民間事業者と協力し合い、**民間と行政の役割分担**を進めていきます。

今後も、民間に委ねることでコスト削減やサービス向上が期待される施設では、**民間の力を活用した施設整備や民間への機能移管**を検討していきます。

【本区におけるPPP/PFI手法の事例】



篠崎公益複合施設
(篠崎文化プラザ)



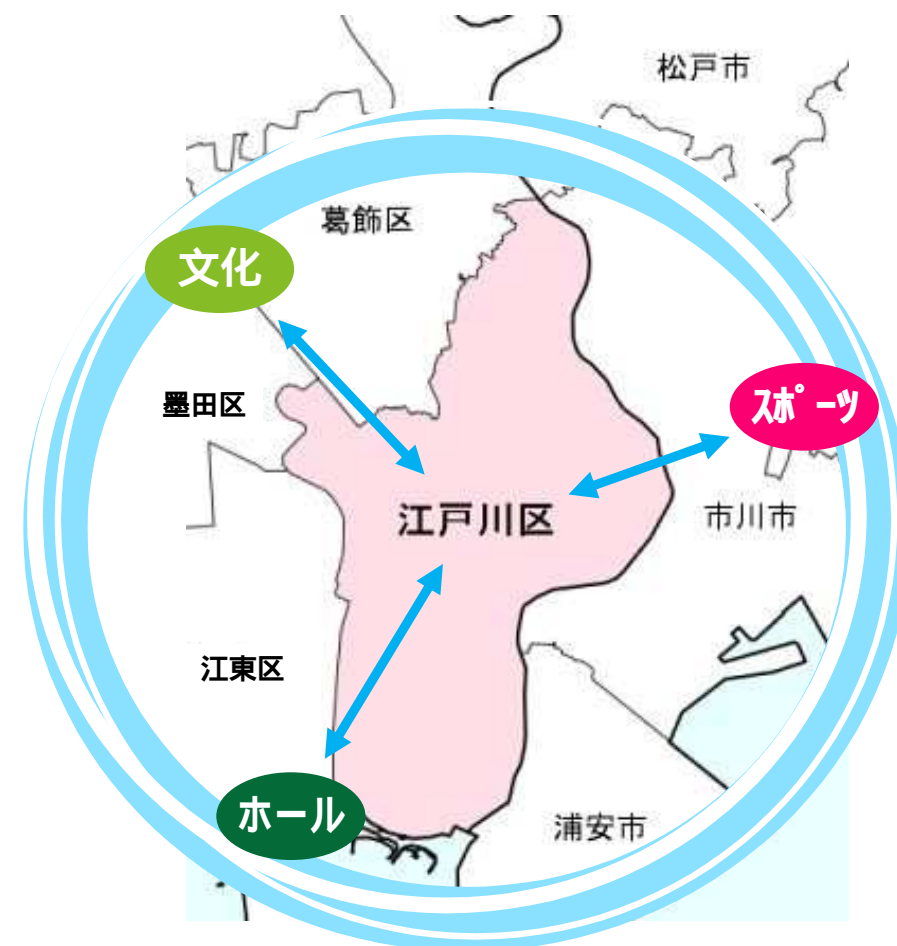
土地区画整理事業により創出した土地に、民間事業者が民間資金で建設した複合ビルの一部を区が買い取り、公共施設として整備しました

コスト縮減に向けた取り組み

限られた財源で効率よく施設を運営するために、**施設のランニングコストの縮減**や、**近隣自治体との広域的な連携**を検討します。

ランニングコスト縮減の手法として、ZEB化などが考えられます。ZEB（Net Zero Energy Building）とは、快適な室内環境を実現しながら、使用するエネルギーを削減する一方で、さまざまな方法でエネルギーを創出することで、エネルギーの自給自足を目指すことです。

また、近隣自治体と施設の共同利用を行うことにより、区民の皆様にとっても**利用可能な施設が増える**だけでなく、一つの自治体で全てを賄う必要がなくなるため、**コストの縮減効果も期待**できます。今後は、自治体の枠を超えた検討の可否も含めて、近隣自治体との調整を進めていきます。



未活用財産の運用

未活用財産の運用に向けた取り組みとして、2022年度より**ネーミングライツの導入**を推進しています。ラグビーリーグワンのクボタスピアーズのホストスタジアムとしても使用される江戸川区陸上競技場は2023年4月よりスピアーズえどりくフィールドとなりました。

また、旧小松川第二小学校の跡地を学校法人滋慶学園に貸し付けて、賃料収入を確保しています。同法人は、2023年4月より当該跡地に専門職大学を設置しており、食堂や図書館は一般にも開放され、たくさんの区民の皆様にも利用されています。

今後も、施設再編によって生じる跡地は、**区の経済活性化**や**健全財政の維持**に寄与するよう、貸付や売却を含めて広く活用を検討していきます。

【本区におけるネーミングライツの事例】



スピアーズえどりくフィールド
(江戸川区陸上競技場)
2023年4月から2026年3月まで

受益者負担のあり方検討

受益者負担とは、公共施設等の行政サービスを利用する人（受益者）が、そのサービスに係る経費を負担するという考え方です。

例えば文化・スポーツ施設の運営では、利用料による収入のほか、区民の皆様からの税金で賄っています。これは、施設を利用していない方も経費の一部を負担していることを意味し、施設を利用する方と利用しない方との間で**負担の不公平が生じる**こととなります。

行政サービスを利用する方・しない方のどちらにとっても公平なものとなるよう、施設やサービスの特性などのさまざまな要素を考慮しながら、**行政サービスの提供と適正・公平な受益者負担を両立**するため、継続的に見直しを行っていく必要があります。

例えば

スポーツセンター 温水プール



1回の区民料金（個人利用）

【現行額】 210 円

運営経費を使用料だけで
まかなおうとすると...

↓ 約4.5倍

【理論値】 914 円

出典：アクションプラン

今から、そしてこれからも維持し続けていかなければならない取り組みです



4-3

計画の推進に向けて

公共施設の総合的かつ計画的な管理は、施設の所管、企画や財政、公共施設のマネジメントの部門等が連携し、全庁的な取り組み体制を構築する必要があります。

そのためには、関連計画との整合性を確保しつつ、建物施設の改修履歴、点検結果、維持管理経費などの情報を**全庁的に共有して取り組んでいきます。**

また、本計画に基づいた公共施設の再編・整備を着実に推進していくために、PDCAサイクルによる進捗管理を行います。

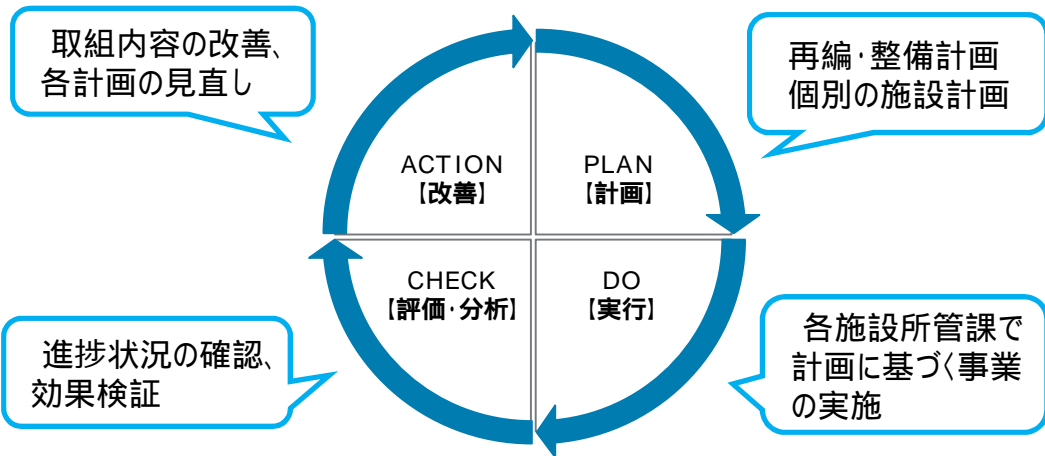
なお、本計画は社会状況の変化等に応じて、適宜修正・見直しを行っていきます。

2100年の江戸川区へバトンをつなぎます

計画策定後の取り組み



今後、施設の老朽化等を契機に、この再編・整備計画の考え方を基に各地域で求められる施設の具体的な検討を行っていきます。





4-4

策定の経緯

本計画策定に向けての参考とするため、様々な形で区民の皆様からの意見を広く伺いました。

区民ワークショップの開催（2021年12月～2023年10月）

計画策定に向けて、区民の皆様の意見を広く伺うために発足し、計4回開催しました。

第1回（2021年12月） 区公共施設の現状と課題

第2回（2022年 4月） 使いやすい施設・災害に強い施設 オンライン

第3回（2022年12月） 共生社会ビジョンの実現に向けて オンライン

第4回（2023年10月） 公共施設再編・整備計画(案)について オンライン



Web方式のワークショップの様子

【いただいた主な意見】

- ・稼働率が低く、無駄な費用がかかっている施設もあるのでは？
- ・ユニバーサルデザインに配慮した施設とすべき
- ・残すべき施設と残さない施設を取捨選択すべき
- ・学校施設も貸し出して有効活用できればよいのでは？
- ・施設を複合化して多くの機能を持たせることで、人が集まる施設を目指すべき
- ・電子申請で来庁不要な区役所に
- ・今は施設利用者が固定化されているのでは？
- ・代替可能なサービスや施設は民間に任せるべき
- ・人々のつながりを生み出し、交流を促進する施設が必要
- ・高さがあり水害にも対応できる施設に

等

各分野の有識者からご意見を伺いました（2023年9月）

【建築・まちづくり】法政大学大学院 政策創造研究科 教授 上山 肇 氏

【いただいた主な意見】

- ・人口減少や少子高齢化が進む未来に向け、これからの**公共施設のあり方に関する計画として必要な考え**であり、また扱う内容についても網羅的に記載されている
- ・今後の公共施設のあり方は、公共施設を日常的に利用する区民にとっても、また区の財政にも大きな影響が出てくるため、公共施設の利用の有無に関わらず**広く区民へ周知**することが求められる
- ・この計画を基に各地域における具体的な施設計画を進める際には、**地域住民の参加や意見をくみ取るプロセス**が、より求められる
- ・2100年に向けた理念は理解できるが、その時代の社会状況等の不明確な要素が多いため、この計画においても、**適宜社会状況に応じた見直しが必要**になると考える

【財務・会計】有限責任監査法人トーマツ 公認会計士 世羅 徹 氏

【いただいた主な意見】

- ・施設に関する計画については、今後の統廃合や集約化が重要になるため、**早期にロードマップ策定と具体的な庁内協議**を始めるべきである
- ・ミニ区役所のコンセプトは理解できるものの、人口減少、施設数減少に伴い職員数の減少も要求されるなか設置するので、**仕組みや体制などについて、十分に検討する必要がある**
- ・文化・スポーツ施設の整備においては、**ソフト面を意識することが重要**である。検討段階で整備後の取組み、集客方法まで考える必要がある。加えて、運営を委託することを想定した**官民協働の視点も重要**である
- ・これからの**公共施設は「収益性」**を常に考える必要がある。新規整備の際にも、将来の収益性と出口戦略まで検討しておく必要がある

広報えどがわによる意見募集

2100年に向けたアクションプラン、公共施設の再編整備計画、関連条例について、それぞれの考え方を示し、広報えどがわや区ホームページなどを通じて、また、区の施設にてアンケートを行い、たくさんの方々にご意見をいただきました。

募集期間
2023年7月1日～20日
応募件数 190件



基本的な考え方に対する意見募集 （パブリックコメント）

本計画の基本的な考え方について、意見募集（パブリックコメント）を行いました。

募集期間
2023年8月1日～14日
応募件数 15件

全編に対する意見募集 （パブリックコメント）

本計画の全編について、意見募集（パブリックコメント）を行いました。

募集期間
2023年10月1日～14日
応募件数 67件

いただいたご意見は、区の考えと合わせて区のホームページにて公表しました。

江戸川区公共施設再編・整備計画

発行日：2023年 月

編集・発行：江戸川区 新庁舎・施設整備部 計画課 計画係
〒132-8501 東京都江戸川区中央一丁目4番1号
TEL：03-5662-9017



ともに、生きる。
江戸川区

卷末資料

卷末資料 目次

(1) 行政系施設	P2
庁舎 事務所 保健所等 清掃事務所 防災施設等 その他の行政施設		
(2) 住宅施設	P6
区営住宅		
(3) 文化・スポーツ施設	P7
宿泊施設 文化施設 スポーツ施設 共育プラザ等 図書館		
(4) コミュニティ施設	P11
コミュニティ会館等 地区会館		
(5) 福祉施設	P16
くすのきカルチャーセンター 障害者・障害児施設等		
(6) 子育て支援施設	P18
区立保育園 おひさま保育園 児童相談所・育成室等		
(7) 学校教育施設	P24
区立幼稚園 区立小学校 区立中学校 閉校した小中学校 その他の教育関連施設		

(1) 行政系施設

庁舎

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	本庁舎	17,429	RC造	S37	61
	(南棟)	7,236	RC造	S37	61
	(東棟)	4,240	RC造	S44	54
	(北棟)	1,672	S造	S55	43
	(西棟)	4,281	RC造	S59	39
2	第二庁舎	1,711	RC造	H4	31
3	分庁舎 1	717	RC造	S60	38
4	第三庁舎 2	584	RC造	S44	54

1 江戸川中央一丁目第2アパートと併設

2 東京電力社屋を賃借

事務所

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	小松川事務所	691	RC造	S43	55
2	葛西事務所 1	961	RC造	S49	49
3	小岩事務所	483	RC造	S47	51
4	東部事務所	505	RC造	S45	53
5	鹿骨事務所	508	RC造	S53	45

1 葛西健康サポートセンターと併設

(1) 行政系施設

保健所等

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	江戸川保健所 (中央健康サポートセンター) 1	1,464	RC造	S49	49
2	小岩健康サポートセンター 2	2,289	RC造	S51	47
3	東部健康サポートセンター 3	640	RC造	H8	27
4	清新町健康サポートセンター	1,292	RC造	S58	40
5	葛西健康サポートセンター 4	648	S造	H17	18
6	鹿骨健康サポートセンター 2	1,333	RC造	H4	31
7	小松川健康サポートセンター 2	1,120	RC造	S63	35
8	なぎさ健康サポートセンター 2	1,171	S造	H10	25
9	清新町健康ひろば 5	192	RC造	S58	40
10	西葛西健康ひろば 6	174	RC造	S57	41
11	江戸川区口腔保健センター	438	S造	H16	19

1 江戸川都税事務所と合同庁舎 2 子育てひろばと併設 3 東部フレンドホール、東部健康サポートセンター子育てひろばと併設
 4 葛西事務所と併設 5 清新北ハイツと併設 6 グリーンヒル西葛西と併設

(1) 行政系施設

清掃事務所

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	小岩清掃事務所	1,538	RC造	S62	36
2	葛西清掃事務所	2,773	RC造	S62	36
3	葛西清掃事務所小松川分室 1	1,587	RC造	S47	51

1 江戸川消防署小松川出張所と併設

防災施設等

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	小松川防災施設	958	RC造	H23	12
2	葛西防災施設 1	2,601	RC造	S59	39
3	南小岩倉庫	243	S造	H15	20
4	中川新橋倉庫	297	S造	S49	49
5	椿水防倉庫 2	222	S造	H21	14
6	西葛西備蓄倉庫 3	122	RC造	S54	44

1 西葛西テニスコートと併設

2 椿樋門設備と併設

3 西葛西ビューハイツと併設

(1) 行政系施設

その他の行政施設

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	(旧)日光林間学校	6,810	RC造	S49	49
2	JR小岩駅周辺地区まちづくり相談事務所	172	S造	H30	5
3	篠崎地区まちづくり事務所	231	S造	H18	17
4	生活援護第三課	991	S造	H22	13
5	(旧)くつろぎの家	1,895	RC造	S61	37
6	小島集会施設 1 1	58	SRC造	S51	47
7	小島集会施設 2 2	58	SRC造	S51	47
8	環境測定分析室 3	302	S造	S60	38

- 1 小島スカイハイツと併設
- 2 小島第2スカイハイツと併設
- 3 庁用車駐車場に併設

(2) 住宅施設

区営住宅

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	本一色町第2アパート	1,563	RC造	S55	43
2	本一色町第2アパート2号棟 2			S57	41
3	江戸川中央一丁目第2アパート 1	857	RC造	S60	38
4	中葛西四丁目アパート	2,149	RC造	S52	46

1 分庁舎と併設

2 本一色会館と併設

(3) 文化・スポーツ施設

宿泊施設

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	穂高荘	1 5,415	RC造	S50	48
	(本館)	3,160	RC造	S50	48
	(新館)	1,820	RC造	S63	35
2	塩沢江戸川荘	4,167	RC造	S63	35
3	ホテルシーサイド江戸川	5,564	RC造	H1	34

1 館外機械室などを含む

文化施設

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	総合区民ホール(タワーホール船堀)	40,414	SRC造	H10	25
2	総合文化センター	21,196	SRC造	S57	41
3	区民センター(グリーンパレス) 1	8,290	RC造	S40	58
	(本館)	5,654	RC造	S40	58
	(新館)	2,636	RC造	S44	54
4	篠崎公益複合施設(篠崎文化プラザ) 2	1,558	SRC造	H20	15

1 共育プラザ中央、共育プラザ中央子育てひろば、グリーンパレス教育相談室と併設

2 篠崎図書館と併設

(3) 文化・スポーツ施設

スポーツ施設

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	総合体育館	10,286	RC造	S45	53
	総合体育館(アーチェリー場)	1,896	S造	H21	14
2	スポーツセンター	11,030	SRC造	S56	42
3	スポーツランド	6,305	SRC造	S57	41
4	陸上競技場	7,124	RC造	S59	39
5	臨海球技場 2	361	SRC造	H1	34
6	水辺のスポーツガーデン 3	140	S造	H20	15
7	江戸川区球場	4,200	RC造	S59	39
8	小岩テニスコート 4	61	S造	H20	15
9	谷河内テニスコート 5	69	S造	R2	3
10	松江テニスコート 6		S造	S52	45
11	西葛西テニスコート 7		S造	S59	39
12	新左近川親水公園カヌー場 3	129	S造	R1	4
13	江戸川グラウンド	18	S造	H20	15
14	荒川グラウンド				
15	葛西ラグビースポーツパーク	286	S造	R3	2

1 アーチェリー場を含む 2 葛西水再生センターと併設 3 公園内の施設 4 小岩公園、甲和亭と併設
 5 篠崎公園のスポーツ広場と併設 6 松江第一中学校と併設 7 葛西防災施設と併設

(3) 文化・スポーツ施設

共育プラザ等

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	共育プラザ小岩 1	1,106	RC造	S47	51
2	共育プラザ平井 2	929	RC造	S49	49
3	共育プラザ葛西 3	1,068	RC造	S51	47
4	共育プラザ南小岩 4	1,152	RC造	S44	54
5	共育プラザ一之江 5	996	RC造	S45	53
6	共育プラザ南篠崎 6	853	RC造	S49	49
7	共育プラザ中央 7	560	RC造	S45	53
8	子ども未来館 8	1,134	S造	H22	13

- 1 共育プラザ小岩子育てひろば、小岩育成室、福祉作業所分室（ベリソイズ）と併設
- 2 西平井保育園、共育プラザ平井子育てひろばと併設
- 3 葛西育成室、共育プラザ葛西子育てひろばと併設
- 4 南小岩保育園、共育プラザ南小岩子育てひろばと併設
- 5 一之江第一保育園と併設
- 6 南篠崎保育園、共育プラザ南篠崎子育てひろば、しのざき学校サポート教室と併設
- 7 区民センター（グリーンパレス）、共育プラザ中央子育てひろば、グリーンパレス教育相談室と併設
- 8 篠崎子ども図書館と併設

(3) 文化・スポーツ施設

図書館

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	中央図書館	8,483	SRC造	H12	23
2	小岩図書館	2,973	RC造	H23	12
3	松江図書館 1	704	RC造	H19	16
4	小松川図書館	1,209	RC造	S47	51
5	篠崎図書館 2	1,087	SRC造	H20	15
6	葛西図書館	1,551	RC造	S49	49
7	西葛西図書館	2,397	SRC造	H5	30
8	東葛西図書館 3	1,398	SRC造	H17	18
9	東部図書館	2,001	RC造	H22	13
10	篠崎子ども図書館 4	412	RC造	H22	13
11	鹿骨コミュニティ図書館 5	407	RC造	S53	45
12	清新町コミュニティ図書館 6	435	SRC造	S58	40

- 1 松江区民プラザと併設
- 2 篠崎公益複合施設（篠崎文化プラザ）と併設
- 3 東葛西コミュニティ会館と併設
- 4 子ども未来館と併設
- 5 鹿骨事務所、なごみの家鹿骨と併設
- 6 公社住宅、清新町コミュニティ会館と併設

(4) コミュニティ施設

コミュニティ会館等

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	小松川区民館	1,312	RC造	S43	55
2	葛西区民館	5,694	RC造	S49	49
3	小岩区民館	すべて事務所と併設	RC造	S47	51
4	東部区民館		RC造	S45	53
5	鹿骨区民館 1)		RC造	S53	45
6	小岩アーバンプラザ		7,583	SRC造	H2
7	東部フレンドホール 2	5,416	SRC造	H8	27
8	小松川区民施設(小松川さくらホール)	5,174	SRC造	H10	25
9	南葛西会館	1,205	RC造	S56	42
10	清新町コミュニティ会館 3	2,464	SRC造	S58	40
11	西小岩コミュニティ会館	956	RC造	S57	41
12	平井コミュニティ会館	1,549	RC造	S58	40
13	一之江コミュニティ会館	1,154	RC造	S61	37
14	臨海町コミュニティ会館 4	2,177	SRC造	S63	35
15	篠崎コミュニティホール 5	605	SRC造	H3	32
16	松江コミュニティ会館	1,747	RC造	H4	31

1 鹿骨コミュニティ図書館、なごみの家鹿骨と併設
3 公社住宅、清新町コミュニティ図書館と併設

2 東部健康サポートセンター、東部健康サポートセンター子育てひろばと併設
4 公社住宅と併設 5 交通会館篠崎ビルと併設

(4) コミュニティ施設

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
17	二之江コミュニティ会館	1,753	S造	H4	31
18	北葛西コミュニティ会館	1,492	S造	H7	28
19	新田コミュニティ会館	960	S造	H7	28
20	篠崎コミュニティ会館	1,469	S造	H8	27
21	南小岩コミュニティ会館	1,035	S造	H9	26
22	瑞江コミュニティ会館	380	RC造	H9	26
23	コミュニティプラザー之江 6	1,118	S造	H14	21
24	北小岩コミュニティ会館	1,897	S造	H14	21
25	上一色コミュニティセンター	1,347	S造	S53	45
26	東葛西コミュニティ会館 7	2,474	SRC造	H17	18
27	江戸川コミュニティ会館 8	812	RC造	H19	16
28	松江区民プラザ 9	1,895	RC造	H19	16
29	中平井コミュニティ会館	1,669	RC造	H21	14
30	長島桑川コミュニティ会館	2,498	RC造	H22	13
31	新川さくら館	433	W造	H24	11
32	船堀コミュニティ会館 10	1,620	RC造	H29	6
33	松島コミュニティ会館	2,894	RC造	R3	2

6 交通会館一之江ビルと併設

7 東葛西図書館と併設

8 民間建物の一部を使用

9 松江図書館と併設

10 船堀第二保育園、船堀子育てひろばと併設

(4) コミュニティ施設

地区会館

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	一之江会館	89	S造	H5	30
2	平井会館	236	S造	S57	41
3	瑞江会館	231	S造	S57	41
4	南小岩会館	162	S造	H13	22
5	下小岩会館	134	S造	H1	34
6	西小岩会館	91	CB造	H21	14
7	平井東会館	76	W造	H24	11
8	南小岩四丁目中曽根会館	274	S造	H2	33
9	下鎌田会館	270	S造	H1	34
10	江戸川五丁目会館	119	W造	S48	50
11	平井五丁目会館	90	W造	S48	50
12	三島会館	119	W造	S49	49
13	長島会館	235	S造	H2	33
14	椿中央会館	325	S造	H19	16
15	松島西会館	270	S造	H3	32
16	宇喜田三角会館	104	W造	S50	48
17	江戸川一丁目会館	164	S造	H11	24
18	新堀会館	193	S造	H4	31

(4) コミュニティ施設

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
19	船堀一丁目会館	73	W造	S52	46
20	篠崎三丁目仲町会館	110	W造	S53	45
21	南葛西仲町会館	112	W造	S53	45
22	西葛西八丁目会館 1	44	RC造	S54	44
23	松江四丁目原会館	120	W造	S54	44
24	中葛西四丁目会館 2	71	SRC造	S56	42
25	中央五南会館	169	W造	S56	42
26	西葛西七丁目会館	165	W造	S56	42
27	南篠崎会館	308	S造	H12	23
28	上一色南会館	242	S造	S58	40
29	本一色会館 3	185	RC造	S59	39
30	北葛西一丁目会館	107	W造	S59	39
31	五分一会館	227	S造	S59	39
32	中央東四会館	223	S造	S60	38
33	南小岩司会館	230	S造	S60	38
34	東小松川南会館	245	S造	S60	38
35	鹿骨一丁目会館	187	S造	S61	37

- 1 新田第一住宅3号棟の一部を使用
- 2 マンション宇喜田カメリアの一部を区分所有
- 3 本一色町第二アパート2号棟の1階を使用

(4) コミュニティ施設

No	施設名	延床面積(㎡)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
36	江上会館	203	S造	S61	37
37	松島南会館	241	S造	S63	35
38	東小松川二丁目会館	180	S造	S62	36
39	平井七丁目会館 4	200	RC造	S63	35
40	船堀一丁目公団会館	90	S造	H1	34
41	船堀六丁目会館	193	S造	H1	34
42	新町会館 5	103	S造	H1	34
43	明和橋会館	121	S造	H4	31
44	東葛西雷会館	180	S造	H4	31
45	西小岩三丁目会館	172	S造	H7	28
46	一之江六丁目会館	117	S造	H8	27
47	松島東会館	272	S造	H9	26

4 平井七丁目第3アパートの一部使用

5 篠崎新町商店街振興組合事務室と併設

(5) 福祉施設

くすのきカルチャーセンター

No	施設名	延床面積 (㎡)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	中央くすのきカルチャーセンター	1,735	RC造	S59	39
2	小岩くすのきカルチャーセンター	681	S造	S60	38
3	葛西くすのきカルチャーセンター	1,182	RC造	S61	37
4	東部くすのきカルチャーセンター 1	319	RC造	S42	56
5	小松川くすのきカルチャーセンター 2	365	RC造	S38	60
6	鹿骨くすのきカルチャーセンター 3	361	RC造	S49	49

- 1 瑞江小学校と併設
 2 平井南小学校と併設
 3 篠崎第四小学校と併設

障害者・障害児施設等

No	施設名	延床面積 (㎡)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	希望の家	3,582	RC造+S造	S61	37
2	希望の家新館	2,128	S造	H24	11
3	虹の家	1,998	RC造	S56	42
4	虹の家新館		S造	H16	19

(5) 福祉施設

No	施設名	延床面積(㎡)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
5	みんなの家	2,175	RC造	H4	31
6	えがおの家	2,306	S造	H12	23
7	さくらの家	1,200	S造	H20	15
8	福祉作業所	816	RC造	S45	53
9	福祉作業所分室(ベリソイズ) 1	548	RC造	S47	51
10	障害者支援ハウス	1,597	RC造	H13	22
11	障害者就労支援センター	1,969	RC造	S42	56
12	発達相談・支援センター	961	RC造	S45	53
13	第二オハナ	118	S造	H3	32
14	ふるーる 2	96	SRC造	S52	46
15	アクティブ新田 (江戸川かもめ第三事業所)	204	S造	S62	36
16	パオパオくらぶ 3	171	SRC造	S54	44
17	小松川支援センター 3	193	SRC造	H1	34
18	地域活動支援センターはるえ野	198	S造	H22	13
19	地域活動支援センターこまつがわ	335	RC造	H18	17
20	地域活動・相談支援センターかさい外	590	RC造	S53	45
21	篠崎児童発達支援センター	1,214	RC造	S47	51

1 共育プラザ小岩、共育プラザ小岩子育てひろば、小岩育成室と併設

2 ゾンネンハイム(分譲マンション)と併設

3 独立行政法人都市再生機構と併設

(6) 子育て支援施設

区立保育園

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	松江保育園	432	RC造	S35	63
2	平井保育園	638	RC造	S41	57
3	小岩保育園	343	S造	S39	59
4	東篠崎保育園	1,376	S造	H20	15
5	今井保育園	583	RC造	S41	57
6	船堀保育園	657	RC造	S42	56
7	江戸川二丁目保育園 2	829	SRC造	H20	15
8	大杉保育園 1	654	RC造	S43	55
9	南小岩保育園 1	742	RC造	S44	54
10	南松島保育園 3	532	RC造	S44	54
11	南平井保育園 2	783	SRC造	S45	53
12	一之江第一保育園 1	756	RC造	S45	53
13	西小岩保育園	600	RC造	S48	50
14	西平井保育園 1	629	RC造	S49	49
15	小島保育園 2	503	SRC造	S49	49
16	船堀第二保育園 1	749	RC造	H29	6

1 他施設併設（延床面積は保育園分のみ）

2 住棟下（延床面積は保育園分のみ）

3 そよ風松島荘と併設

(6) 子育て支援施設

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
17	南篠崎保育園 1	696	RC造	S50	48
18	新田保育園 2	649	SRC造	S50	48
19	堀江保育園 2	735	SRC造	S51	47
20	春江第二保育園 2	731	SRC造	S51	47
21	宇喜田第二保育園 2	656	SRC造	S51	47
22	宇喜田第二保育園分園	885	S造	R3	2
23	堀江第二保育園 2	789	SRC造	S51	47
24	平井第二保育園 2	501	SRC造	S53	45
25	船堀第三保育園 2	797	SRC造	S54	44
26	堀江第三保育園 2	784	SRC造	S54	44
27	南篠崎第二保育園 2	679	SRC造	S55	43
28	東葛西保育園 2	689	SRC造	S56	42
29	清新第一保育園 2	844	SRC造	S57	41
30	清新第三保育園 2	846	SRC造	S57	41
31	臨海第一保育園 2	802	SRC造	S62	36
32	臨海第二保育園 2	843	SRC造	S63	35
33	小松川第二保育園 2	834	SRC造	H8	27
34	小松川第三保育園 2	788	SRC造	H20	15

1 他施設併設（延床面積は保育園分のみ）

2 住棟下（延床面積は保育園分のみ）

(6) 子育て支援施設

おひさま保育園

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	葛西おひさま保育園	937	S造	H13	22
2	新堀おひさま保育園	746	S造	H13	22
3	東小松川おひさま保育園	1,153	RC造	S43	55
4	鹿骨おひさま保育園	932	RC造	S48	50
5	北葛西おひさま保育園	1,231	S造	H12	23
6	西篠崎おひさま保育園	992	S造	H20	15
7	葛西第二おひさま保育園	709	RC造	S62	36
8	東小岩おひさま保育園	923	RC造	S50	48
9	春江おひさま保育園	1,154	RC造	S50	48
10	松江おひさま保育園	865	S造	S51	47
11	西小岩おひさま保育園	1,036	S造	S52	46
12	松本おひさま保育園	991	S造	H20	15
13	清新おひさま保育園	968	RC造	S59	39
14	小松川おひさま保育園 1	866	SRC造	S63	35

1 住棟下（延床面積は保育園分のみ）

(6) 子育て支援施設

No	施設名	延床面積(㎡)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
15	南葛西おひさま保育園 1	798	SRC造	S60	38
16	西葛西おひさま保育園	840	S造	S53	45
17	中葛西おひさま保育園	975	S造	H23	12
18	松島おひさま保育園	577	RC造	S40	58
19	清新第二おひさま保育園 1	869	SRC造	S57	41
20	北小岩おひさま保育園	773	S造	H20	15
21	南篠崎おひさま保育園 1	894	SRC造	H10	25
22	新田おひさま保育園 1	689	SRC造	S54	44
23	宇喜田おひさま保育園 1	757	SRC造	S49	49

1 住棟下（延床面積は保育園分のみ）

(6) 子育て支援施設

児童相談所・育成室等

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	小岩育成室 1	470	RC造	S47	51
2	葛西育成室 2	471	RC造	S51	47
3	鹿本育成室	1,208	RC造	S39	59
4	臨海育成室 3	200	RC造	S62	36
5	児童相談所 4	4,509	RC造	R1	4
6	人権・男女共同参画推進センター	652	S造	H27	8
7	はあとポート子育てひろば	61	RC造	R1	4
8	船堀子育てひろば	170	RC造	H29	6
9	中葛西子育てひろば	141	RC造	S56	42
10	堀江子育てひろば	111	SRC造	S50	48
11	臨海子育てひろば	129	SRC造	H1	33
12	小岩健康サポートセンター子育てひろば	36	RC造	S51	47
13	東部健康サポートセンター子育てひろば	50	RC造	H8	27
14	葛西健康サポートセンター子育てひろば	89	S造	H17	18
15	鹿骨健康サポートセンター子育てひろば	44	RC造	H14	21

1 共育プラザ小岩、共育プラザ小岩子育てひろば、福祉作業所分室（ベリソイズ）と併設

2 共育プラザ葛西、共育プラザ葛西子育てひろばと併設 令和6年度（2025年度）に児童発達相談支援センターとして運営開始予定

3 都営臨海町二丁目アパートと併設

4 はあとポート子育てひろばと併設

(6) 子育て支援施設

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
16	清新町健康サポートセンター子育てひろば	128	RC造	S58	40
17	小松川健康サポートセンター子育てひろば	48	RC造	S63	35
18	なぎさ健康サポートセンター子育てひろば	71	S造	H10	25
19	共育プラザ小岩子育てひろば	107	RC造	S47	51
20	共育プラザ平井子育てひろば	103	RC造	S49	49
21	共育プラザ葛西子育てひろば	159	RC造	S51	47
22	共育プラザ南小岩子育てひろば	121	RC造	S44	54
23	共育プラザー之江子育てひろば	165	RC造	S45	53
24	共育プラザ南篠崎子育てひろば	142	RC造	S49	49
25	共育プラザ中央子育てひろば	54	RC造	S45	53
26	そよ風松島荘 5	863	RC造	S44	54

5 南松島保育園と併設

(7) 学校教育施設

区立幼稚園

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	船堀幼稚園	1,523	RC造	S41	57

区立小学校

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	小松川小学校	6,629	RC造	S36	62
2	小松川第二小学校	7,933	RC造	H8	27
3	平井小学校	5,531	RC造	S41	57
4	平井西小学校	4,210	RC造	S41	57
5	平井東小学校	4,401	RC造	S37	61
6	平井南小学校 1	4,984	RC造	S38	60
7	松江小学校	8,326	RC造	H24	11
8	西一之江小学校	5,062	RC造	S43	55
9	西小松川小学校	5,417	RC造	S41	57
10	大杉小学校	5,047	RC造	S42	56
11	大杉第二小学校	5,235	RC造	S49	49
12	第三松江小学校	7,930	RC造	H28	7
13	大杉東小学校	5,185	RC造	S40	58

1 小松川くすのきカルチャーセンターと併設

(7) 学校教育施設

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
14	東小松川小学校	5,372	RC造	S38	60
15	船堀小学校	8,997	RC造	H26	9
16	船堀第二小学校	7,573	RC造	S43	55
17	葛西小学校 2	8,985	RC造	H30	5
18	二之江小学校	7,564	RC造	R5	0
19	二之江第二小学校	4,876	RC造	S48	50
20	第二葛西小学校	9,198	RC造	H25	10
21	第三葛西小学校	5,799	RC造	S39	59
22	第四葛西小学校	5,763	RC造	S44	54
23	第五葛西小学校	6,440	RC造	S45	53
24	第六葛西小学校	7,262	RC造	S49	49
25	第七葛西小学校	6,471	RC造	S50	48
26	南葛西小学校	6,104	RC造	S53	45
27	南葛西第二小学校	5,412	RC造	S56	42
28	南葛西第三小学校	7,676	RC造	S63	35
29	西葛西小学校	6,842	RC造	S54	44
30	新田小学校	5,672	RC造	S55	43
31	宇喜田小学校	5,809	RC造	S57	41

2 葛西中学校と併設

(7) 学校教育施設

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
32	清新第一小学校	6,631	RC造	S57	41
33	清新ふたば小学校	7,876	RC造	S58	40
34	臨海小学校	8,682	RC造	H3	32
35	東葛西小学校	7,713	RC造	H13	22
36	瑞江小学校 3	7,286	RC造	S42	56
37	春江小学校	9,439	RC造	H26	9
38	新堀小学校	4,902	RC造	S55	43
39	下鎌田小学校	5,494	RC造	S33	65
40	下鎌田東小学校	5,009	RC造	S46	52
41	江戸川小学校	4,909	RC造	S42	56
42	一之江小学校	5,935	RC造	S39	59
43	一之江第二小学校	6,237	RC造	S43	55
44	鹿本小学校	4,690	RC造	S44	54
45	鹿骨小学校	5,073	RC造	S38	60
46	鹿骨東小学校	5,515	RC造	S50	48
47	松本小学校	5,009	RC造	S47	51
48	本一色小学校	4,728	RC造	S42	56
49	篠崎小学校	7,319	RC造	R5	0

3 東部くすのきカルチャーセンターと併設

(7) 学校教育施設

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
50	篠崎第二小学校	5,414	RC造	S41	57
51	篠崎第三小学校	8,035	RC造	H28	7
52	篠崎第四小学校 4	5,281	RC造	S49	49
53	篠崎第五小学校	4,816	RC造	S50	48
54	南篠崎小学校	5,400	RC造	S51	47
55	鎌田小学校	4,860	RC造	S40	58
56	小岩小学校	8,393	RC造	R3	2
57	東小岩小学校	4,344	RC造	S44	54
58	下小岩小学校	4,286	RC造	S34	64
59	上小岩小学校	4,964	RC造	S39	59
60	上小岩第二小学校	3,956	RC造	S44	54
61	西小岩小学校	5,988	RC造	S41	57
62	上一色南小学校	6,539	RC造	S47	51
63	南小岩小学校	7,660	RC造	R4	1
64	南小岩第二小学校	6,353	RC造	S40	58
65	中小岩小学校	5,112	RC造	S38	60
66	北小岩小学校	4,575	RC造	S47	51

4 鹿骨くすのきカルチャーセンターと併設

(7) 学校教育施設

区立中学校

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	小松川中学校	11,136	RC造	R4	1
2	小松川第二中学校	9,051	RC造	H29	6
3	松江第一中学校 1	8,416	RC造	S42	56
4	松江第二中学校	7,809	RC造	S35	63
5	松江第三中学校	6,485	RC造	S36	62
6	松江第四中学校	9,257	RC造	S48	50
7	松江第五中学校	9,127	RC造	H26	9
8	松江第六中学校	6,236	RC造	S50	48
9	二之江中学校	7,359	RC造	S52	46
10	葛西中学校 2	7,557	RC造	H30	5
11	葛西第二中学校	5,889	RC造	S41	57
12	葛西第三中学校	7,453	RC造	S47	51
13	南葛西中学校	6,041	RC造	S53	45
14	南葛西第二中学校	7,625	RC造	S60	38
15	西葛西中学校	8,089	RC造	S54	44
16	東葛西中学校	7,512	RC造	S56	42

1 松江テニスコートと併設

2 葛西小学校と併設

(7) 学校教育施設

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
17	清新第一中学校	7,292	RC造	S57	41
18	清新第二中学校	9,540	RC造	S61	37
19	瑞江中学校	7,760	RC造	S42	56
20	瑞江第二中学校	6,635	RC造	S40	58
21	瑞江第三中学校	9,328	RC造	R2	3
22	春江中学校	6,026	RC造	S51	47
23	鹿本中学校	8,462	RC造	S43	55
24	鹿骨中学校	6,761	RC造	S52	46
25	篠崎中学校	8,736	RC造	S43	55
26	篠崎第二中学校	7,324	RC造	S50	48
27	小岩第一中学校	7,462	RC造	S35	63
28	小岩第二中学校	8,999	RC造	R3	2
29	小岩第三中学校	10,143	RC造	S47	51
30	小岩第四中学校	7,821	RC造	S43	55
31	小岩第五中学校	8,215	RC造	S46	52
32	上一色中学校	8,103	RC造	S36	62

(7) 学校教育施設

閉校した小中学校

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	(旧)平井第二小学校	4,908	RC造	S52	46
2	(旧)清新第二小学校	7,450	RC造	S57	41
3	(旧)上一色小学校	3,073	RC造	S42	56
4	(旧)二之江第三小学校	4,482	RC造	S53	45
5	(旧)第二松江小学校	4,187	RC造	S33	65
6	(旧)下鎌田西小学校	5,982	RC造	S47	51
7	(旧)下小岩第二小学校	5,064	RC造	S39	59
8	(旧)小松川第一中学校	5,227	RC造	S35	63
9	(旧)小松川第三中学校	6,660	RC造	S37	61

(7) 学校教育施設

その他の教育関連施設

No	施設名	延床面積(m ²)	構造	竣工年度	経過年数 2023.4.1時点
1	グリーンパレス教育相談室 1	416	RC造	S45	53
2	教育研究所 分室 2	61	S造	H1	33
3	西葛西教育相談室	520	S造	S57	41
4	南篠崎教育相談室 3	133	SRC造	S55	43
5	ふなぼり学校サポート教室 4	150	SRC造	S61	37
6	こいわ学校サポート教室	110	S造	S49	49
7	しのざき学校サポート教室 5		RC造	S49	49
8	にしかさい学校サポート教室 6		SRC造	S54	44
9	みなみかさい学校サポート教室 7		SRC造	S60	38
10	ひらい学校サポート教室	252	RC造	S49	49

- 1 区民センター（グリーンパレス）、共育プラザ中央、共育プラザ中央子育てひろばと併設
- 2 リョウデンパークビルと併設
- 3 南篠崎スカイハイツB棟と併設
- 4 船堀六丁目パークハイツ4号棟と併設
- 5 共育プラザ南篠崎、共育プラザ南篠崎子育てひろば、南篠崎保育園と併設
- 6 新田第二住宅6号棟と併設
- 7 コーシャハイム南葛西五丁目1号棟と併設